

当初設計

2025年度



谷地川・手城川流域・7-2

福山市 東手城町三丁目 地内

河川改修工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=232m 河道掘削工 一式 護岸工 一式 防護柵工 一式 舗装工 一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、河川改修工事(谷地川・手城川流域・7-2)に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 部分引渡し

- ・契約約款第38条により、本工事の内、笠コンクリート及び河床土の処分の一部を令和8年3月31日までに工事を完成させ、検査を受け部分引渡しを行うこと。完成数量及び引渡し時期については、打合せ協議にて決定する。

第5節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第6節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第7節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第8節 保安施設設置基準について

- ・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにする。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

- ・本工事は「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）」の対象工事であり、次の工種について、六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）によるものとする。
- ・土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
- ・六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数
安定処理工：配合設計段階 1検体
合計 1検体

第2節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 関連する別途工事

- ・工事名：河川改修工事（谷地川・手城川流域・5-1）工事
- ・他工事の内容：河川改修工事
- ・工事名：河川改修工事（谷地川・手城川流域・7-1）工事
- ・他工事の内容：橋梁上部工

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 事前・事後調査

- ・本工事において、事前に工事損失の調査を行っている。工事開始前までに調査結果に相違ないかを確認し、工事期間中の経過観察を行うこと。工事完了後に、「福山市建設工事損失補償事務処理要綱」に基づき関係者へ通知すること。

第4節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第5節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：支保工、水替工

第7節 建設副産物について

- (1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。
- 1 建設廃棄物処理計画書
 - ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
 - ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
 - ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
 - ・各処分場の現地確認写真
 - ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し
- 2 再生資源利用計画書
- 3 再生資源利用促進計画書
- (2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。
- 1 再生資源利用実施書
- 2 再生資源利用促進実施書
- 3 建設廃棄物処理実施書
 - ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
 - ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第8節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第9節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
 - ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
 - ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
 - ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
 - ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第10節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

福山市週休2日適用工事実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要領において「週休2日適用工事」とは、次項に掲げる週休2日の対象工事をいう。

2 この要領において「週休2日」とは、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める条件を満たすものをいう。

(1) 完全週休2日(土日) 対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。

(2) 月単位の週休2日 対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。

(3) 通期の週休2日 対象期間内において現場閉所等の日数が4週8休以上のものをいう。

3 この要領において「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

4 この要領において「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。

5 この要領において「対象期間」とは、工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。

(1) 年末年始6日間及び夏季休暇3日間

(2) 工場製作のみが行われている期間

(3) 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間

6 この要領において「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。

7 この要領において「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。

(対象工事)

第3条 週休2日適用工事の対象となる工事は、請負設計金額が500万円以上の工事とし、次の各号の区分に応じ、当該各号に定める工事とする。

(1) 発注者指定型 原則として、請負設計金額1億5千万円以上の工事で、発注者が指定したものとする。

(2) 受注者希望型 原則として、請負設計金額500万円以上1億5千万円未満の工事で、発注者が指定したものとする。

2 前項の規定にかかわらず、災害復旧工事等の緊急を要する工事及び施工に必要な実日数が短い工事（原則として、実日数が20日以内のもの）は除くものとする。

3 発注者は、第1項の工事を発注する場合は、入札公告及び特記仕様書又は現場説明書に週休2日適用工事である旨を明記するものとする。

（実施方法）

第4条 週休2日は、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定めるところにより実施するものとする。

(1) 完全週休2日（土日） 第2条第2項第1号に定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。

(2) 月単位の週休2日 第2条第2項第2号に定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

(3) 通期の週休2日 第2条第2項第3号に定めるところにより実施するものとする。

2 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。

3 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。

4 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。

(1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合

(2) その他工程の都合上やむを得ない場合

5 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を土木工事（港湾工事を含む。この項及び次条第1項から第3項並びに第6条において同じ。）及び農林工事にあつては標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置し、建築工事にあつては施設管理者の承諾を得て公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。

6 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。

7 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。

8 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

（経費の補正）

第5条 発注者指定型の工事は、月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、土木工事、建築工事及び農林工事（土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事に限る。）については、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用（港湾工事を除く。）して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする（農林工事（治山林道必携適用工事に限る。）については、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成できず、通期の週休2日を達成したと認めた場合は、通期の週休2日の補正係数を適用し、月単位の週休2日及び通期の週休2日のいずれも達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。）。

2 受注者希望型の工事は、週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、土木工事、建築工事及び農林工事（土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事に限る。）については、完全週休2日（土日）（港湾工事を除く。）又は月単位の週休2日の補正係数を適用し、農林工事（治山林道必携適用工事に限る。）については、月単位の週休2日又は通期の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

3 土木工事に係る経費の補正については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）及び土木工事標準単価の補正係数の表に定める補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、月単位の週休2日を達成した場合に限り、第2号に定める補正係数及び別表港湾工事市場単価の補正係数の表に定める補正係数により、経費の補正を行うものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03

(2) 月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.01（港湾工事を除く。）
ウ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
エ 現場管理費	1.02（港湾工事を除く。）
オ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

4 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

5 建築工事に係る経費については、第1号及び第2号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表建築工事の補正係数、電気設備工事の補正係数及び機械設備工事の補正係数の表に定める補正係数を用いて、労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費とする。）及び現場管理費を補正するものとする。ただし、市場単価及び補正市場単価を採用する場合は、第3号の式により労務費の補正をするものとし、物価資料の掲載価格（材工単価）を採用する場合は、第4号の式により労務費の補正をするものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費 1.02

イ 現場管理費 1.01

(2) 月単位の週休2日

労務費 1.02

(3) 市場単価及び補正市場単価の場合

ア 新営工事の場合

(ア) 市場単価 × 新営補正係数

(イ) 補正市場単価 × 新営補正係数

イ 全館無人改修の場合（基準単価の算定）

(ア) 市場単価 × 新営補正係数

(イ) 補正市場単価 × 新営補正係数

ウ 執務並行改修の場合（基準補正単価の算定）

(ア) 市場単価 × 改修補正係数

(イ) 補正市場単価 × 改修補正係数

(4) 物価資料の掲載価格（材工単価）を採用する場合

ア 新営工事、全館無人改修の場合

物価資料の掲載価格 × 新営補正係数

イ 執務並行改修の場合

物価資料の掲載価格 × 改修補正係数

6 前項第3号の基準単価及び基準補正単価とは、公共建築工事積算基準等資料によるものとし、執務並行改修の場合の基準補正単価は、公共建築工事積算基準等資料の「市場単価及び補正市場単価改修補正率」によらず、この要領別表建築工事の補正係数、電気設備工事の補正係数及び機械設備工事の補正係数の表の改修補正係数を用いた前項第3号の式により、市場単価又は補正市場単価を補正して算定するものとする。

7 農林工事に係る経費の補正については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）市場単価の補正係数及び農林工事（治山林道必携適用工事）市場単価の補正係数の表に定める市場単価並びに別表農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）標準単価の補正係数及び農林工事（治山林道必携適用工事）標準単価の補正係数の表に定める補正係数を用いるものとする。

(1) 土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事

ア 完全週休2日（土日）

(ア) 労務費 1.02

(イ) 共通仮設費 1.05

(ウ) 現場管理費 1.06

イ 月単位の週休2日

(ア) 労務費 1.02

(イ) 共通仮設費 1.04

(ウ) 現場管理費 1.05

(2) 治山林道必携適用工事

ア 月単位の週休2日

(ア) 労務費 1.04

- (イ) 機械経費（賃料） 1.02
- (ウ) 共通仮設費 1.03
- (エ) 現場管理費 1.05

イ 通期の週休2日

- (ア) 労務費 1.02
- (イ) 機械経費（賃料） 1.02
- (ウ) 共通仮設費 1.02
- (エ) 現場管理費 1.03

8 前項第1号ア(ア)及びイ(ア)並びに第2号ア(ア)及びイ(ア)に規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

（工事成績評定）

第6条 土木工事、建築工事及び農林工事（土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事に限る。）については、完全週休2日（土日）（港湾工事を除く。）又は月単位の週休2日を達成したとき、農林工事（治山林道必携適用工事に限る。）については、月単位の週休2日又は通期の週休2日を達成したときに工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

2 週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

（提出書類の虚偽）

第7条 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

（その他）

第8条 この要領に定めのない事項については、必要に応じ受発注者協議して定めるものとする。

附 則

この要領は、2024年（令和6年）4月25日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 この要領は、2024年（令和6年）6月10日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の第5条第5項及び別表の規定は、この要領の施行の日以後に入札の公告をした契約について適用する。

附 則

（施行期日）

この要領は、2025年（令和7年）6月1日（第4条第5項、第5条第1項、第2項、第7項及び第8項並びに第6条中農林工事に係る部分、別表農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）市場単価の補正係数、農林工事（治山林道必携適用工事）市場単価の補正係数、農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）標準単価の補正係数、農林工事（治山林道必携適用工事）標準単価の補正係数並びに別記様式中農林工事に係る部分については、発注者が別に定める日）から施行し、それぞれ改正後の規定の施行の日以後に積算した工事について適用する。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休２日	完全 週休２日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.01

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 の週休2日
底面工	1.01
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.02
足場工	1.01
鉄筋工	1.02
吊鉄筋工	1.02
型枠工	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.02
止水板工	1.02
上蓋工	1.02
伸縮目地工	1.01
係船柱取付	1.02
防舷材取付	1.02
車止・縁金物取付	1.02
係船柱撤去	1.02
防舷材撤去	1.02
車止撤去	1.02
電気防食取付	1.02
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.02
防砂目地板取付工（水中施工）	1.02
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.02
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.01
ペトロラタム被覆	1.02
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.02
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.02
かき落とし工	1.02
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.01
汚濁防止枠設置・撤去	1.01
灯浮標設置・撤去	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.00
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.02
異形ブロック製作型枠工	1.02
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.02
異形ブロック製作給熱養生	1.01

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休２日	完全 週休２日 (土日)
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.02	1.02
鉄筋工（ガス圧接）		1.01	1.01
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		通期の週休2日	月単位の週休2日
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.02	1.04
鉄筋工（ガス圧接）		1.02	1.03
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.04
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（落石防止柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
道路標識設置工	設置	1.00	1.01
	撤去・移設	1.02	1.03
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
法面工		1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.03
軟弱地盤処理工		1.01	1.02
鉄筋挿入工（ロックボルト）		1.02	1.03

建築工事の補正係数

工種	摘要※	月単位の週休2日 及び 完全週休2日（土日）	
		新営補正係数	改修補正係数
仮設工事	物価資料	1.01	1.01
土工事	市場単価、 物価資料共通	1.01	1.01
地業工事	物価資料	1.01	1.01
鉄筋工事	市場単価、 物価資料共通	1.01	1.01
コンクリート工事	市場単価、 物価資料共通	1.01	1.01
型枠工事	市場単価、 物価資料共通	1.01	1.01
鉄骨工事	物価資料	1.02	1.02
既製コンクリート	物価資料	1.01	1.01
防水工事	市場単価	1.01	1.08
防水工事（シーリング）	市場単価	1.01	1.14
防水工事	物価資料	1.01	1.01
石工事	物価資料	1.01	1.01
タイル工事	物価資料	1.01	1.01
木工事	物価資料	1.01	1.01
屋根及びとい	物価資料	1.01	1.01
金属工事	市場単価	1.01	1.09
金属工事	物価資料	1.01	1.01
左官工事（仕上塗材仕上）	市場単価	1.01	1.01
左官工事（仕上塗材仕上以外）	市場単価	1.01	1.16
左官工事	物価資料	1.01	1.01
建具（ガラス）	市場単価	1.01	1.10
建具（シーリング）	市場単価	1.02	1.16
建具	物価資料	1.01	1.01
塗装工事	市場単価	1.01	1.15
塗装工事	物価資料	1.01	1.01
内外装工事	市場単価	1.01	1.13
内外装工事（ビニル系床材）	市場単価	1.01	1.08
内外装工事	物価資料	1.01	1.01
内外装工事（ビニル系床材）	物価資料	1.01	1.01
仕上ユニット	物価資料	1.01	1.01
排水工事	物価資料	1.01	1.01
舗装工事	物価資料	1.01	1.01
植栽及び屋上緑化	物価資料	1.01	1.01

※「市場単価」：市場単価及び補正市場単価、「物価資料」：物価資料の掲載価格の補正係数を示す。

電気設備工事の補正係数

工種	摘要	月単位の週休 2 日 及び 完全週休 2 日（土日）	
		新営補正係数	改修補正係数
配管工事	電線管、2 種金属線び及び同ボックス	1. 01	1. 19
	ケーブルラック	1. 01	1. 15
	位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1. 01	1. 18
	プルボックス	1. 01	1. 13
	プルボックス用接地端子	1. 00	1. 00
	防火区画貫通処理ケーブルラック用（壁・床）	1. 01	1. 14
	防火区画貫通処理金属管・丸型用	1. 01	1. 05
	（電動機その他接続材工事） 金属製可とう電線管	1. 01	1. 15
配線工事	600V 絶縁電線及び 600V 絶縁ケーブル	1. 01	1. 17
接地工事	（接地極工事） 銅板式、銅覆鋼棒、接地極埋設票（金属製）	1. 01	1. 01

機械設備工事の補正係数

工種	摘要	月単位の週休 2 日 及び 完全週休 2 日（土日）	
		新営補正係数	改修補正係数
保温工事	配管用、ダクト用及び消音内貼	1. 01	1. 15
ダクト設備	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧チャンパー類	1. 01	1. 15
ダクト付属品	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1. 02	1. 22
衛生器具設備 （ユニット除く）	取付手間のみ	1. 02	1. 22

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休２日	完全 週休２日 (土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休２日	完全 週休２日 (土日)
区画線工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
鋼橋塗装工		1.01	1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		通期 の週休２日	月単位 の週休２日
区画線工		1.02	1.04
排水構造物工		1.02	1.04
コンクリートブロック積工		1.02	1.04
構造物とりこわし工	機械	1.02	1.03
	人力	1.02	1.04

① 土木工事及び農林工事

ご協力をお願いします	
週休2日適用工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

② 建築工事

週休2日 適用工事

(A3サイズ以上)

③ 共通

週休2日適用工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A3サイズ以上)

掲示内容

土木工事・農林工事等については①及び③、建築工事については②及び③を基本とする。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.06.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	01 河川工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
築堤・護岸					Y1A01 レベル1
河川土工	1	式			Y1A0101 レベル2
掘削工	1	式			Y1A010101 レベル3
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】	1	式			Y1A01010101 レベル4
掘削（河床土） 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	4,900	m3			SPK24040001 00 単第0 -0001 表
掘削（粘性土） 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	860	m3			SPK24040001 00 単第0 -0002 表
残土処理工	1	式			Y1A010108 レベル3
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1A01010802 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬（河床土） 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離7.0km以下(6.0km超)	4,900	m3			SPK24040002 00 単第0 -0003 表
土砂等運搬（粘性土） 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離7.0km以下(6.0km超)	860	m3			SPK24040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分		m3			Y1A01010803レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料（河床土）	6,200	m3			F0000000001 00
投棄料（粘性土）	860	m3			F0000000003 00
地盤改良工	1	式			Y1A0103 レベル2
表層安定処理工	1	式			Y1A010301 レベル3
安定処理 【混合深さ,固化材100m2あたり使用量】 【固化材の種類】		m2			Y1A01030103レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安定処理工 添加量50kg/m3	2,320	m2			V0001 00 単第0 -0005 表
護岸基礎工	1	式			Y1A0105 レベル2
作業土工	1	式			Y1A010501 レベル3
床掘り 【土質】		m3			Y1A01050102 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	110	m3			SPK24040015 00 単第0 -0007 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1A01050103 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	120	m3			SPK24040020 00 単第0 -0008 表
再生クラッシュラン 30～0mm	20	m3			T0247 00
基礎工	1	式			Y1A010503 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場打基礎 【Co規格,底幅,高さ】		m			Y1A01050301レベル4
笠コンクリート工		m			V0002 00
	408	m			単第0 -0009 表
付帯道路工					Y1A0111 レベル2
	1	式			
路側防護柵工					Y1A011101 レベル3
	1	式			
ガードレール 【Gr規格,施工規模,曲線部補正】		m			Y1A01110101レベル4
防護柵設置工(Gr) コンクリート建込 - 塗装品_Gr-C-2B [規]100m以上	408	m			SS000123 00
					単第0 -0014 表
アスファルト舗装工					Y1A011106 レベル3
	1	式			
下層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】		m2			Y1A01110601レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	220	m2			SPK24040232 00
					単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】		m2			Y1A01110603レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	220	m2			SPK24040234 00 単第0 -0016 表
表層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1A01110609レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	220	m2			SPK24040241 00 単第0 -0017 表
構造物撤去工					Y1A0114 レベル2
	1	式			
構造物取壊し工					Y1A011406 レベル3
	1	式			
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】		m			Y1A01140602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	440	m			SPK24040306 00 単第0 -0018 表
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】		m2			Y1A01140603レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK24040018 00
	210	m2			単第0 -0019 表
鋼材切断 【鋼材規格(種類他)】		箇所			Y1A01140608レベル4
ガス切断 鋼矢板		箇所			S0180 00
	452	箇所			単第0 -0020 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT4～4.5t級2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)		t			SPK24040410 00
	173.6	t			単第0 -0021 表
運搬処理工					Y1A011416 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1A01141601レベル4
殻運搬 舗装版破碎 D1D区間有り 運搬距離6.5km以下(5.0km超)		m3			SPK24040151 00
	11	m3			単第0 -0022 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1A01141602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト殻処分	25	t			F0000000004 00
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ（HS）	173.6	t			F0000000005 00
仮設工	1	式			Y1A0115 レベル2
水替工	1	式			Y1A011506 レベル3
ポンプ排水 【排水量,排水方法】		日			Y1A01150601レベル4
水替え工	1	式			V000000100 00 単第0 -0023 表
支保工	1	式			Y1A011506 レベル3
支保工 【排水量,排水方法】		日			Y1A01150601レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支保工					V000000200 00
	1	式			単第0 -0029 表
交通管理工					Y1A011521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1A01152101 レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	325	人			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
【機器単体費】					#0046
共通仮設費[対象外],現場管理費[対象外]					
一般管理費[対象外]					

本工事費 内訳表

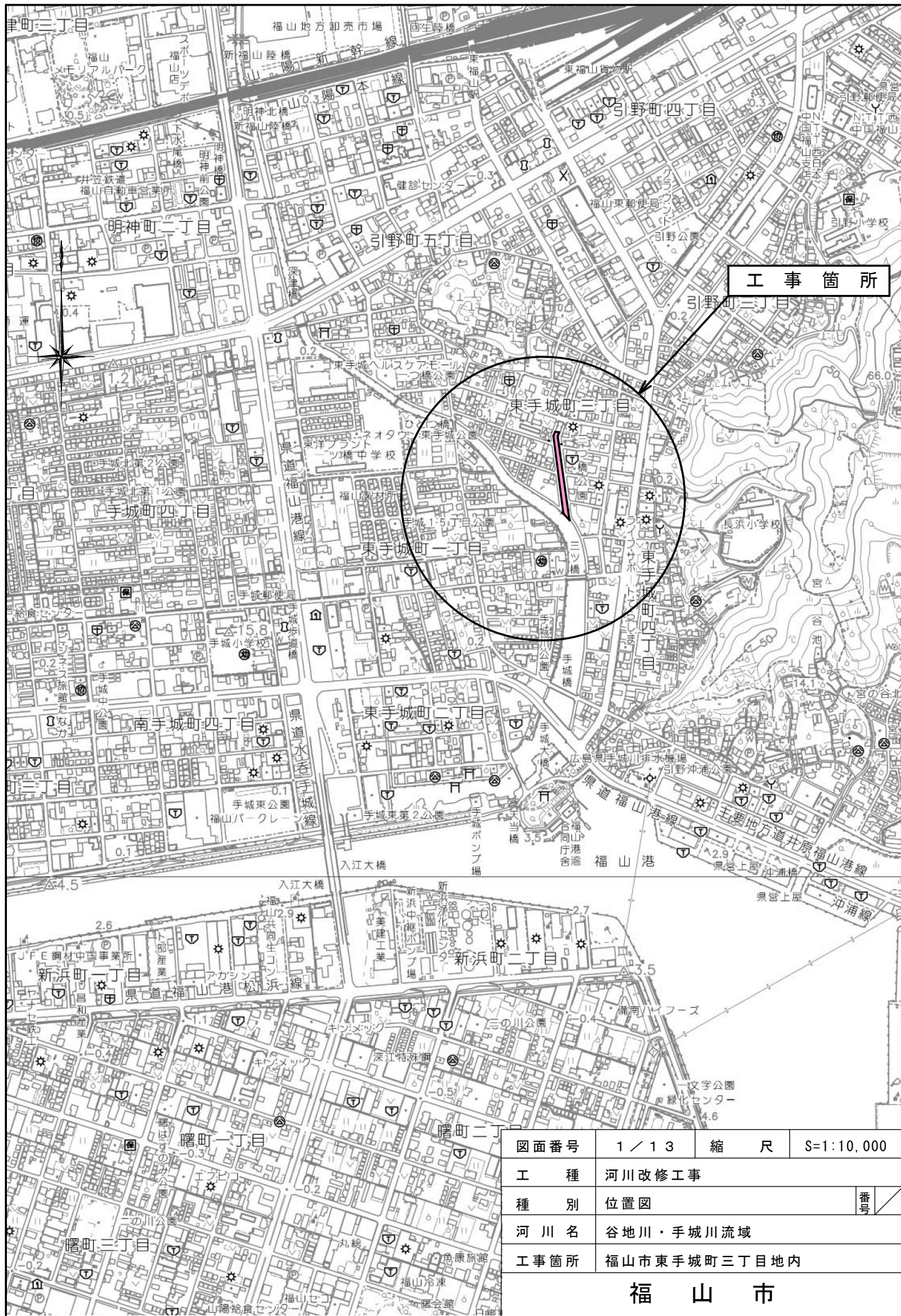
頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験費 試験方法1	1	試料			TH003912 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

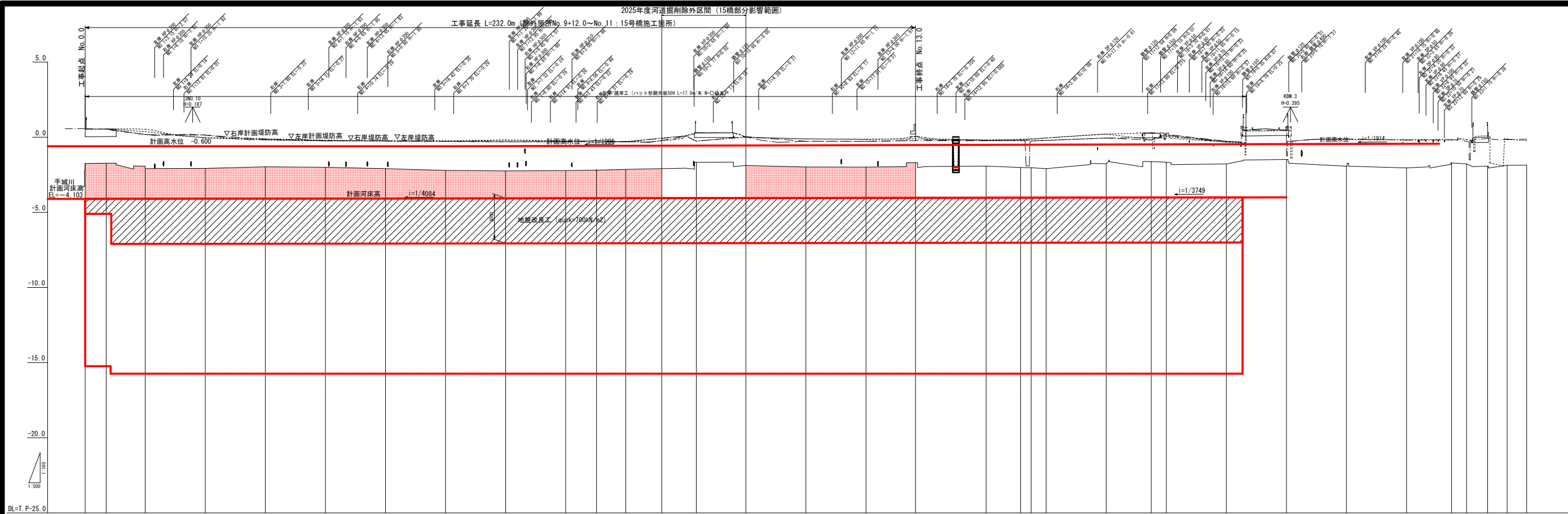
頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					



図面番号	1 / 13	縮 尺	S=1:10,000
工 種	河川改修工事		
種 別	位置図		番号
河 川 名	谷地川・手城川流域		
工事箇所	福山市東手城町三丁目地内		

福 山 市



（地層構成）		
地質時代	地層記号	地 層 名
新生代 第四紀	現世	Bs1 礫土層
	Bs2	埋土層
	沖積世	As 沖積砂質土層
	Ac	沖積粘性土層
	Dc1	洪積第1粘性土層
	Ds1	洪積第1砂質土層
	Dg1	洪積第1礫質土層
	Dc2	洪積第2粘性土層
	Ds2	洪積第2砂質土層
	Dg2	洪積第2礫質土層
	Dc3	洪積第3粘性土層
	Ds3	洪積第3砂質土層
	Dg3	洪積第3礫質土層
中生代後期白亜紀	Rt-ww	強風化流紋岩
	Rt-w	風化流紋岩
	Cr-w	風化頁岩
	Rt	流紋岩

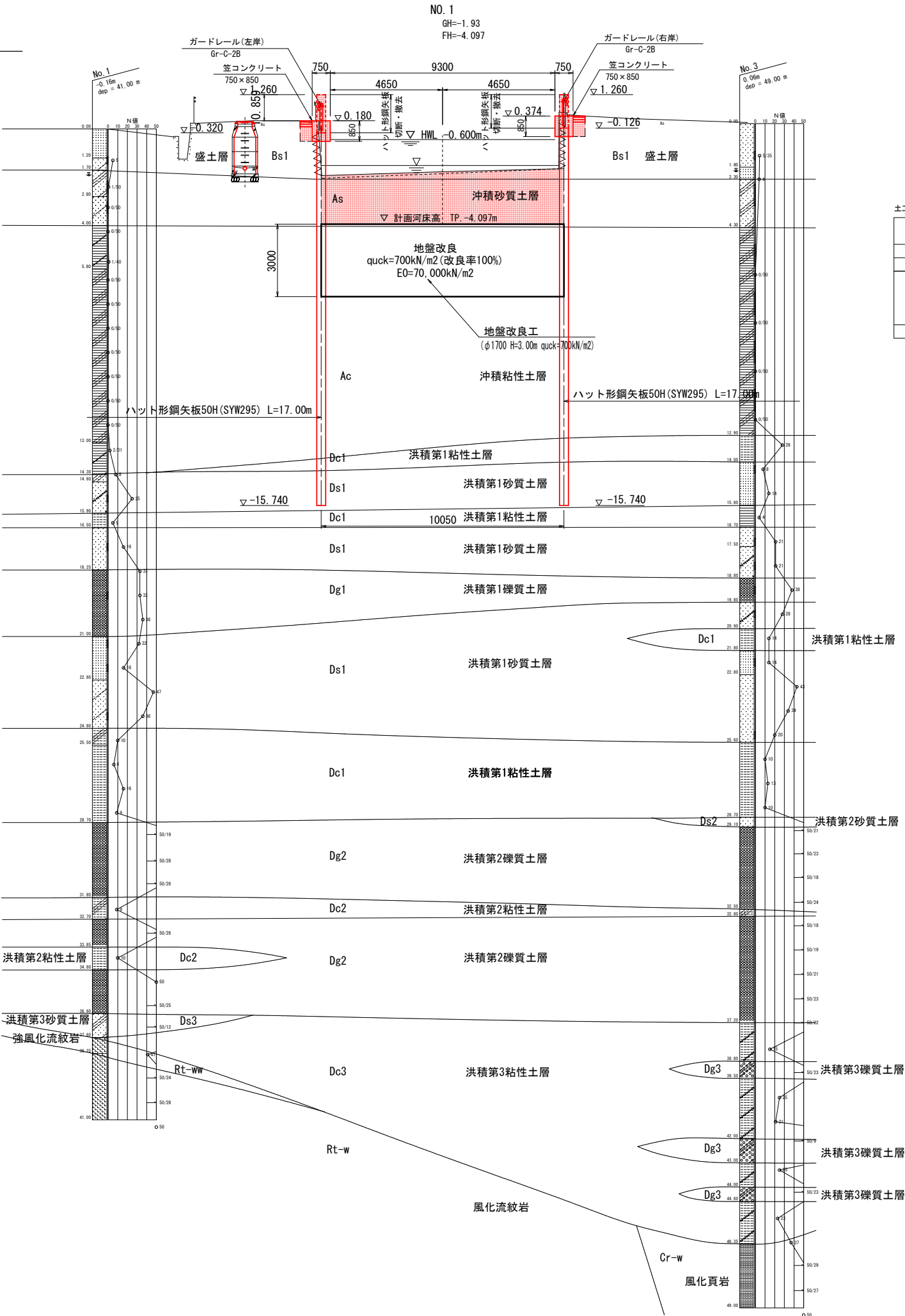
凡 例	
-----	右岸計画堤防高
-----	左岸計画堤防高
-----	計画河床高
-----	右岸堤防高
-----	左岸堤防高
-----	現況河床高
-----	最深河床高

項目	手城川 計画河床高 EL=-4.103	計画河床高 i=1/4084	地盤改良工（幅50m×深2m）	計画河床高 i=1/3749	右岸計画堤防高	左岸計画堤防高	計画河床高	計画水位	計画河床高	右岸堤防高	左岸堤防高	最深河床高	追加距離	単距離	測 点	由 線
No.0	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	0.000	0.000	No.0	1A-27-09-51
No.0+7	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	7.000	7.000	No.0+7	1A-27-09-51
No.1	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	13.000	20.000	No.1	1A-27-09-51
No.2	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	40.000	No.2	1A-27-09-51
No.3	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	60.000	No.3	1A-27-09-51
P10	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	5.340	65.340	P10	1A-27-09-51
No.4	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	80.000	No.4	1A-27-09-51
No.5	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	100.000	No.5	1A-27-09-51
No.6	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	120.000	No.6	1A-27-09-51
No.7	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	140.000	No.7	1A-27-09-51
No.8	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	160.000	No.8	1A-27-09-51
IP.1	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	10.276	170.276	IP.1	1A-27-09-51
No.9	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	9.724	180.000	No.9	1A-27-09-51
No.10	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	200.000	No.10	1A-27-09-51
No.11	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	16.500	220.000	No.11	1A-27-09-51
No.12	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	240.000	No.12	1A-27-09-51
No.13	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	260.000	No.13	1A-27-09-51
No.14	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	3.500	260.000	No.14	1A-27-09-51
No.15	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	11.500	311.500	No.15	1A-27-09-51
No.16	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	5.000	320.000	No.16	1A-27-09-51
No.17	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	10.800	330.800	No.17	1A-27-09-51
No.18	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	12.588	352.588	No.18	1A-27-09-51
No.19	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	380.000	No.19	1A-27-09-51
No.20	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	400.000	No.20	1A-27-09-51
No.21	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	420.000	No.21	1A-27-09-51
No.22	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	20.000	440.000	No.22	1A-27-09-51
No.23	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	10.640	450.640	No.23	1A-27-09-51
No.24	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	15.000	465.000	No.24	1A-27-09-51
No.25	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	5.000	480.000	No.25	1A-27-09-51
No.26	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	7.000	487.000	No.26	1A-27-09-51
No.27	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	6.500	475.500	No.27	1A-27-09-51
No.28	-4.103	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	-4.102	6.500	480.000	No.28	1A-27-09-51

工 種	河川改修工事		
図面名	縦 断 面 図		
作成年月日	2025年 6月		
縮 尺	V=1:100 H=1:500	図面番号	3 / 13
河川名	谷地川・手城川流域		
事業者名	福 山 市		

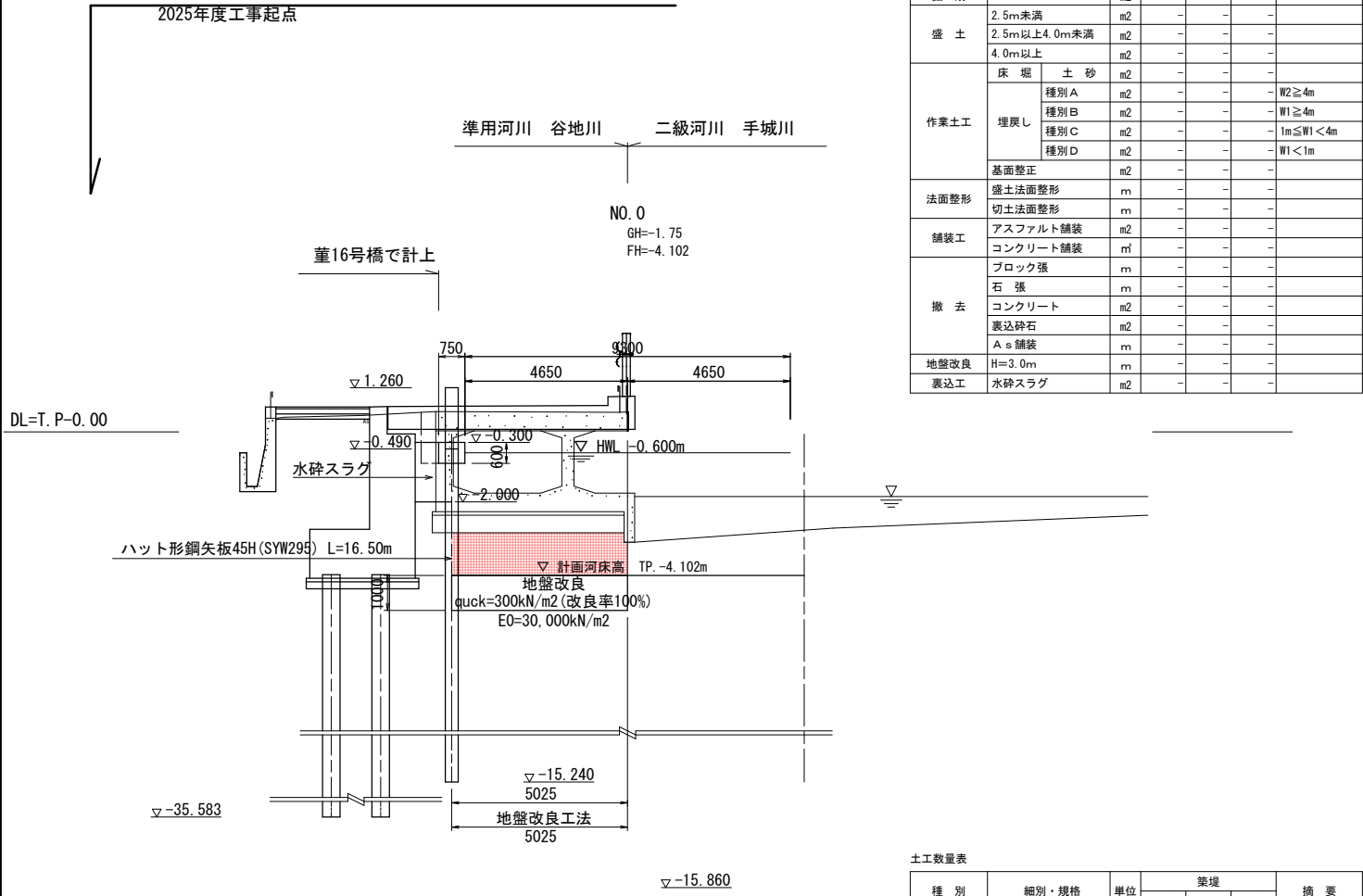
標準横断面図 S=1:100

DL=T.P-0.00

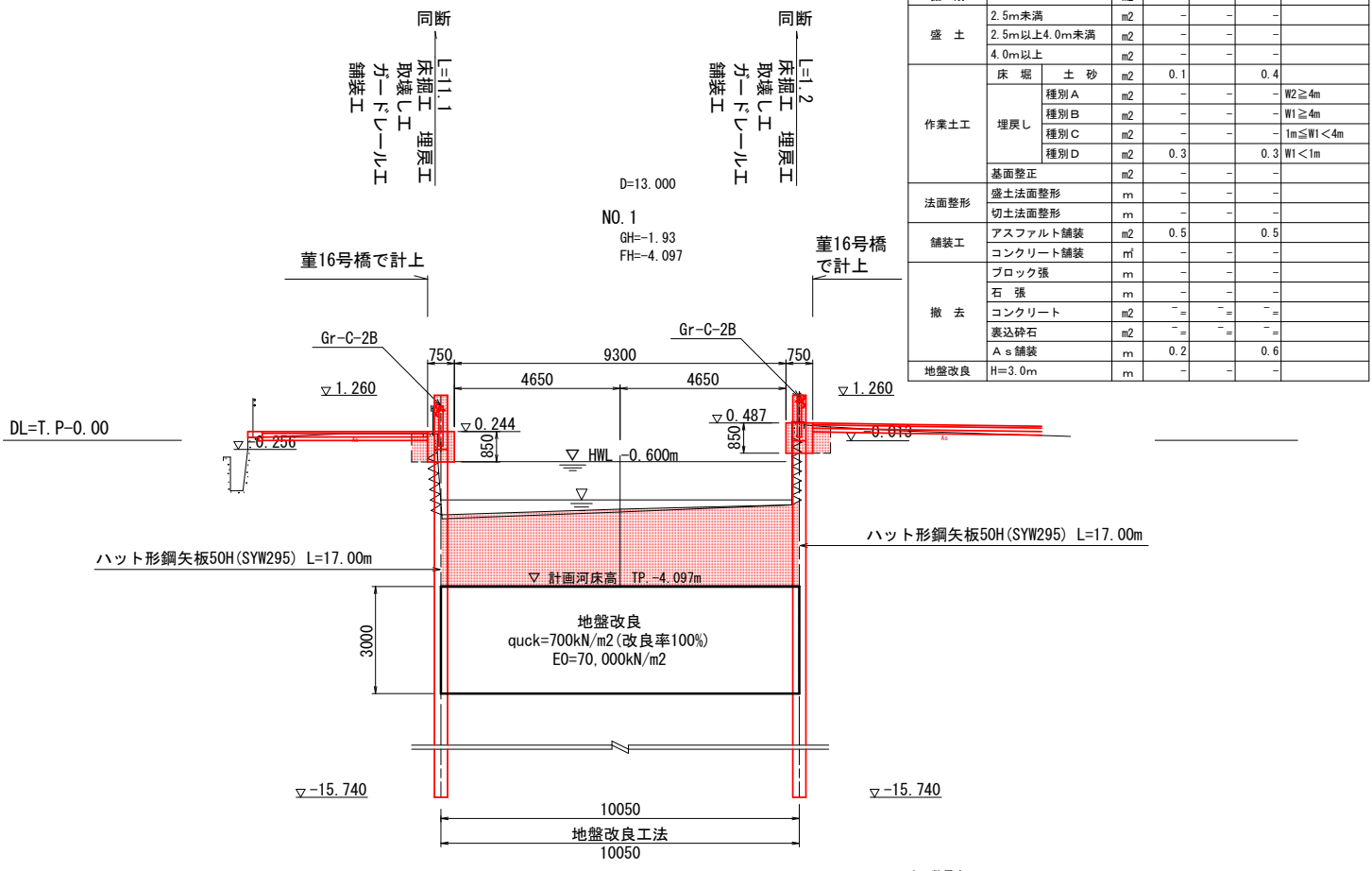
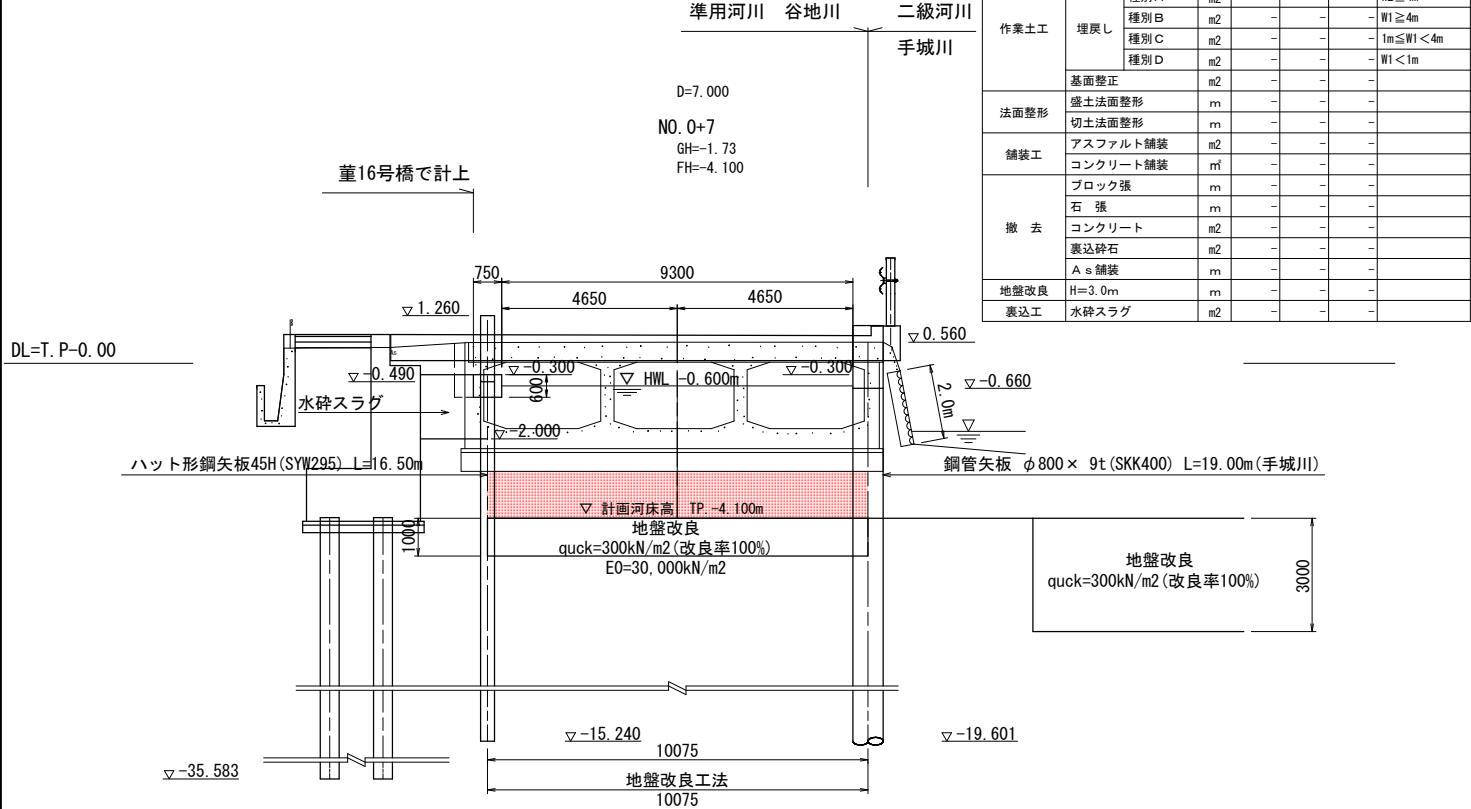


土工数量表		単位	築堤			摘 要
種 別	細別・規格		左岸	河床部	右岸	
掘 削		m2				
舗装工	アスファルト舗装	m2				
撤 去	ブロック張	m				
	コンクリート	m2				
	裏込砕石	m2				
地盤改良	As 舗装	m				
	H=3.0m	m				

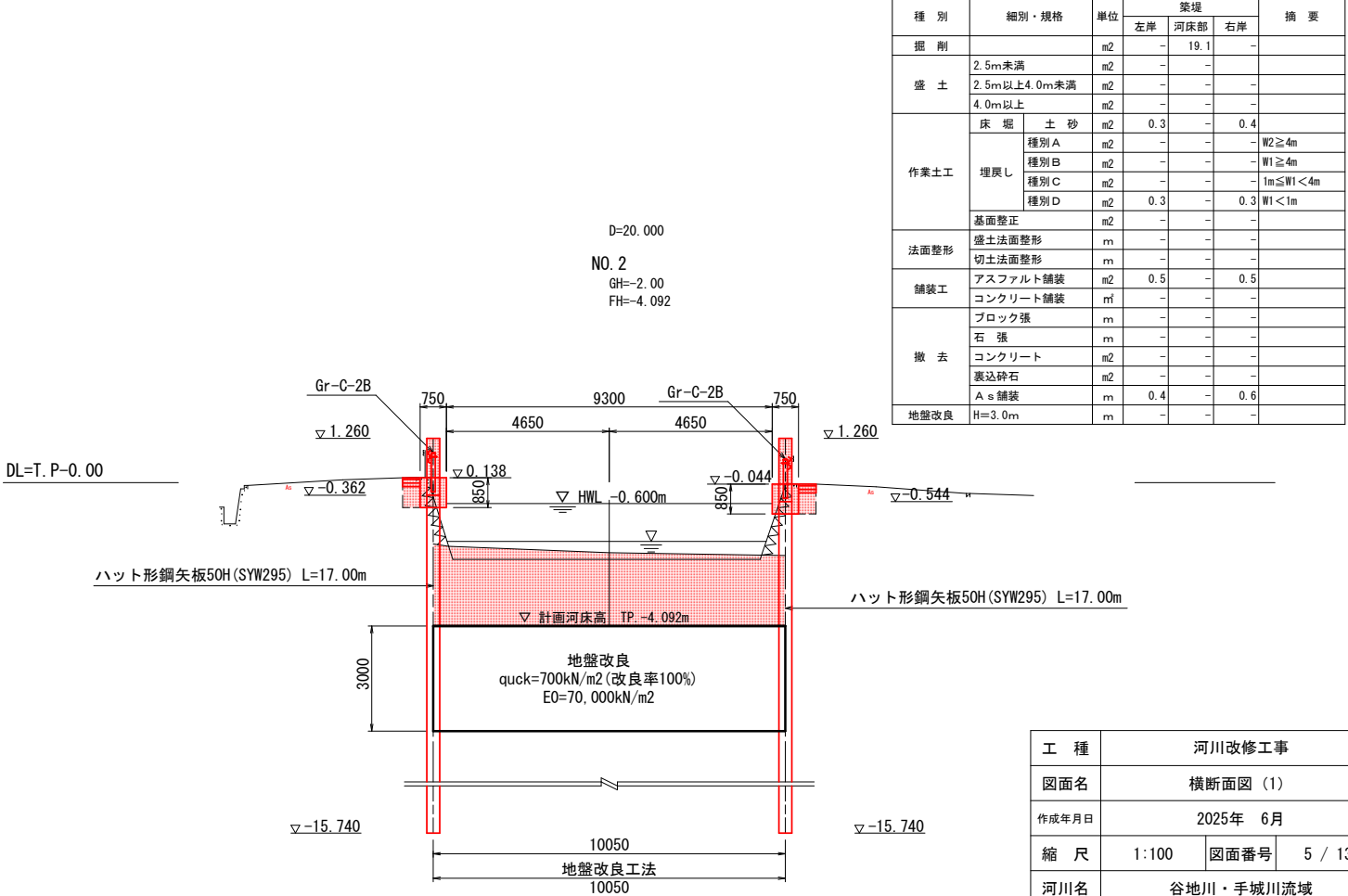
工 種	河川改修工事		
図面名	縦 断 面 図		
作成年月日	2025年 6月		
縮 尺	V=1 : 100 H=1 : 500	図面番号	4 / 13
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福 山 市		



種 別	細 別・規格	単位	築堤			摘 要
			左岸	河床部	右岸	
掘 削		m2	-	6.1	-	
盛 土	2.5m未満	m2	-	-	-	
	2.5m以上4.0m未満	m2	-	-	-	
	4.0m以上	m2	-	-	-	
作業土工	床 堀	土 砂	m2	-	-	
	種別 A	m2	-	-	-	W2≥4m
	種別 B	m2	-	-	-	W1≥4m
	種別 C	m2	-	-	-	1m≤W1<4m
	種別 D	m2	-	-	-	W1<1m
法面整形	盛土法面整形	m	-	-	-	
	切土法面整形	m	-	-	-	
舗装工	アスファルト舗装	m2	-	-	-	
	コンクリート舗装	m	-	-	-	
撤 去	ブロック張	m	-	-	-	
	石 張	m	-	-	-	
地盤改良	コンクリート	m2	-	-	-	
	裏込砕石	m2	-	-	-	
裏込工	A s 舗装	m	-	-	-	
	H=3.0m	m	-	-	-	
水砕スラグ		m2	-	-	-	

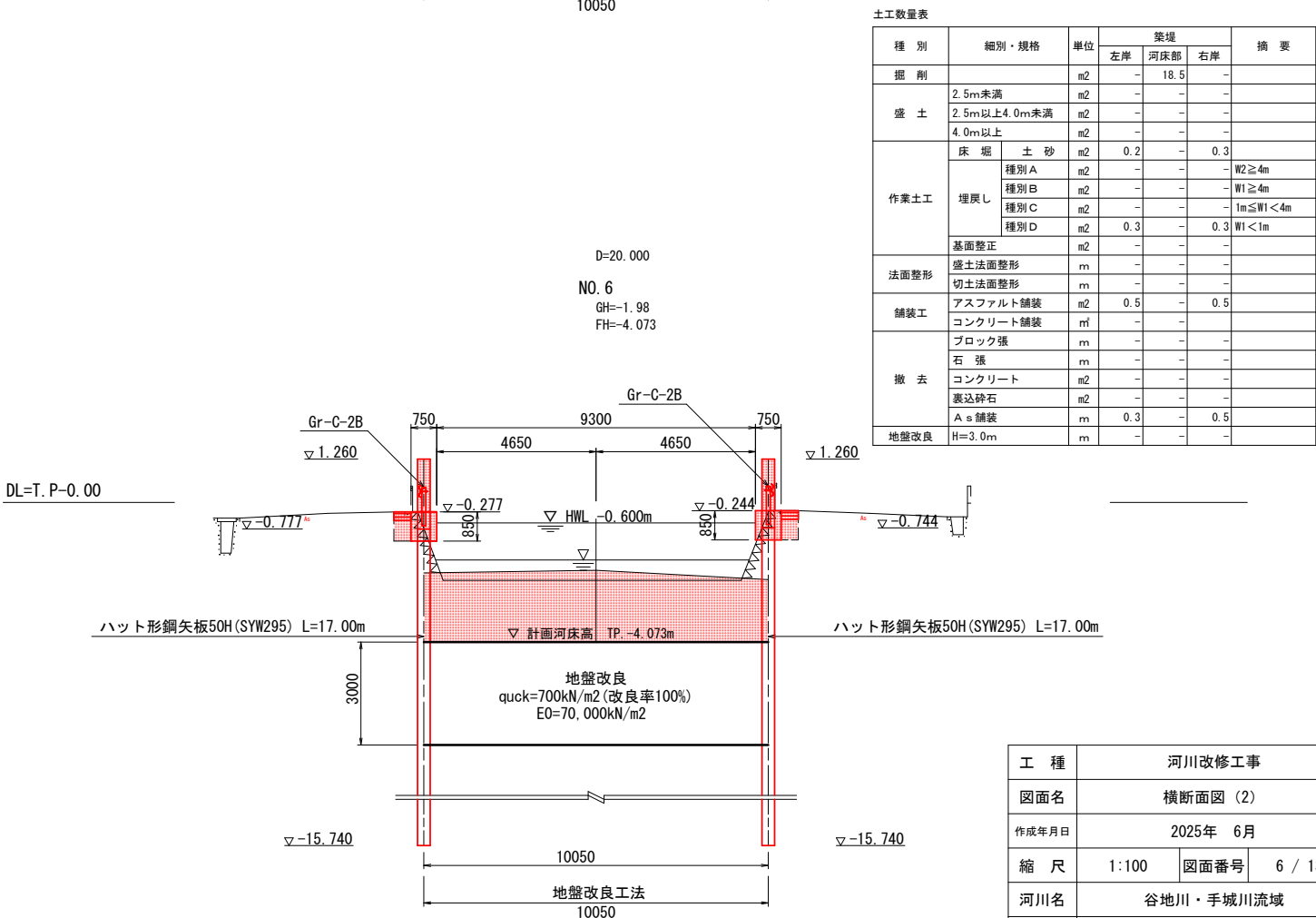
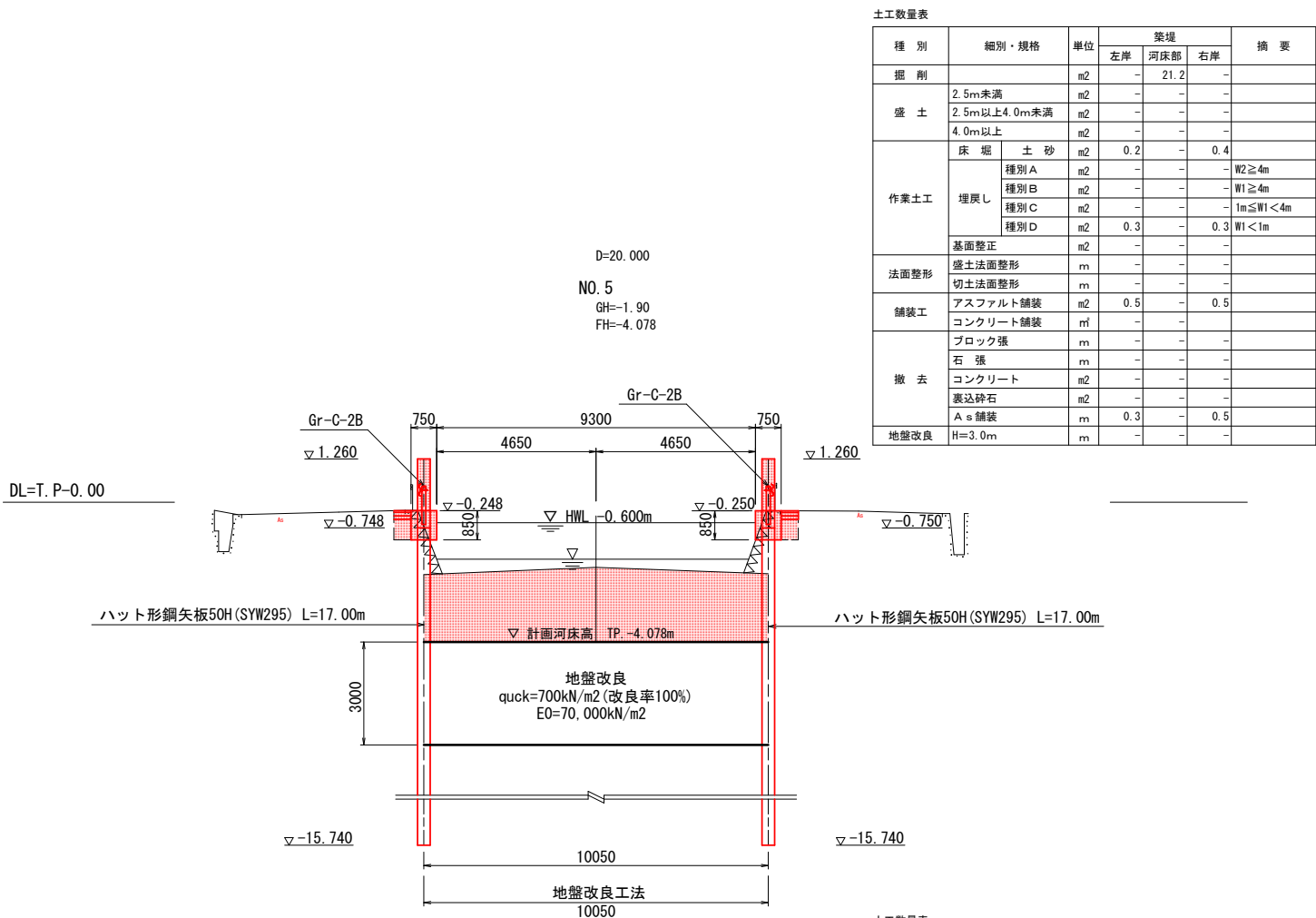


種 別	細 別・規格	単位	築堤			摘 要
			左岸	河床部	右岸	
掘 削		m2	-	21.0	-	
盛 土	2.5m未満	m2	-	-	-	
	2.5m以上4.0m未満	m2	-	-	-	
	4.0m以上	m2	-	-	-	
作業土工	床 堀	土 砂	m2	0.1	0.4	
	種別 A	m2	-	-	-	W2≥4m
	種別 B	m2	-	-	-	W1≥4m
	種別 C	m2	-	-	-	1m≤W1<4m
	種別 D	m2	0.3	-	0.3	W1<1m
法面整形	盛土法面整形	m	-	-	-	
	切土法面整形	m	-	-	-	
舗装工	アスファルト舗装	m2	0.5	-	0.5	
	コンクリート舗装	m	-	-	-	
撤 去	ブロック張	m	-	-	-	
	石 張	m	-	-	-	
地盤改良	コンクリート	m2	-	-	-	
	裏込砕石	m2	-	-	-	
裏込工	A s 舗装	m	0.2	-	0.6	
	H=3.0m	m	-	-	-	

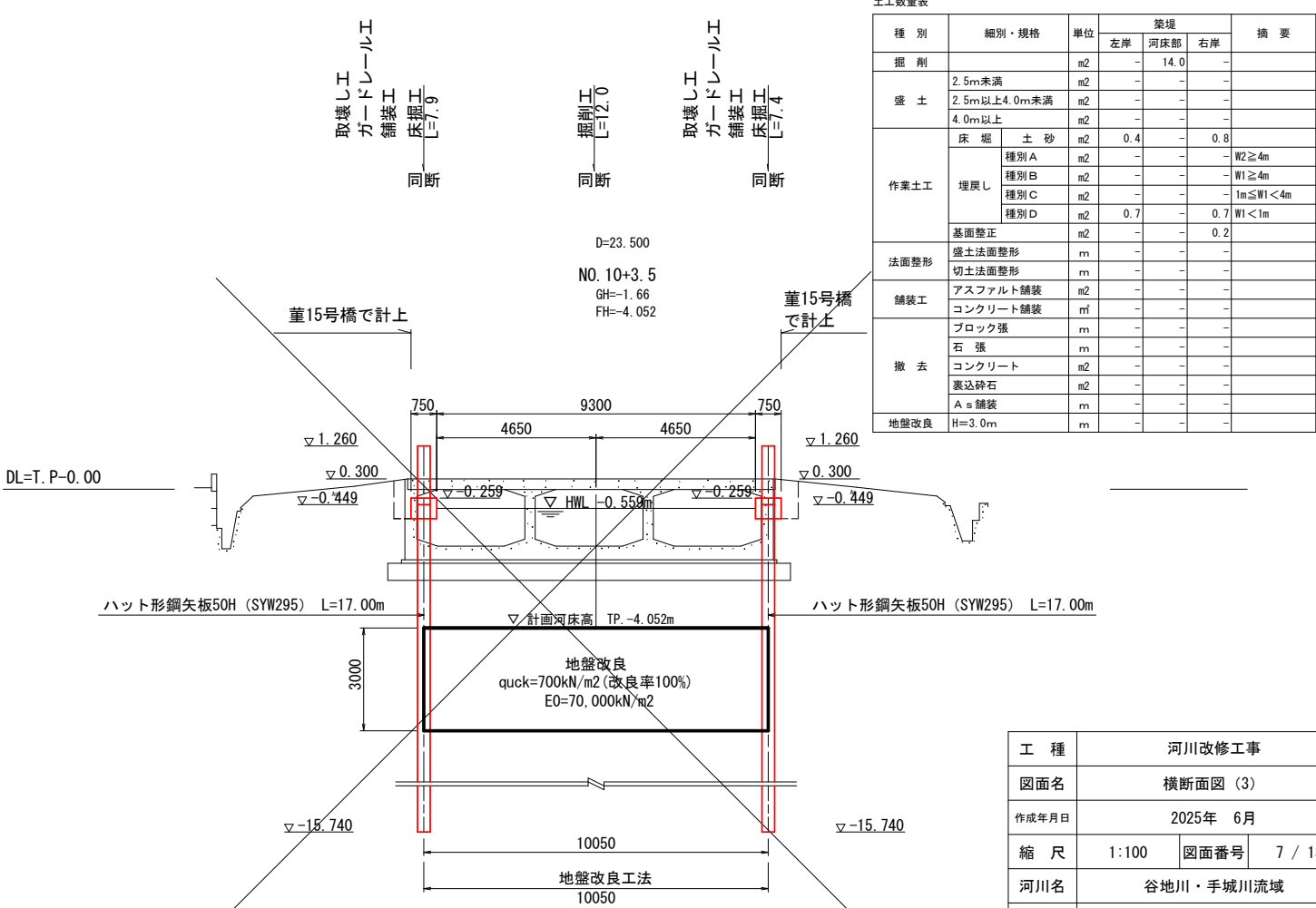
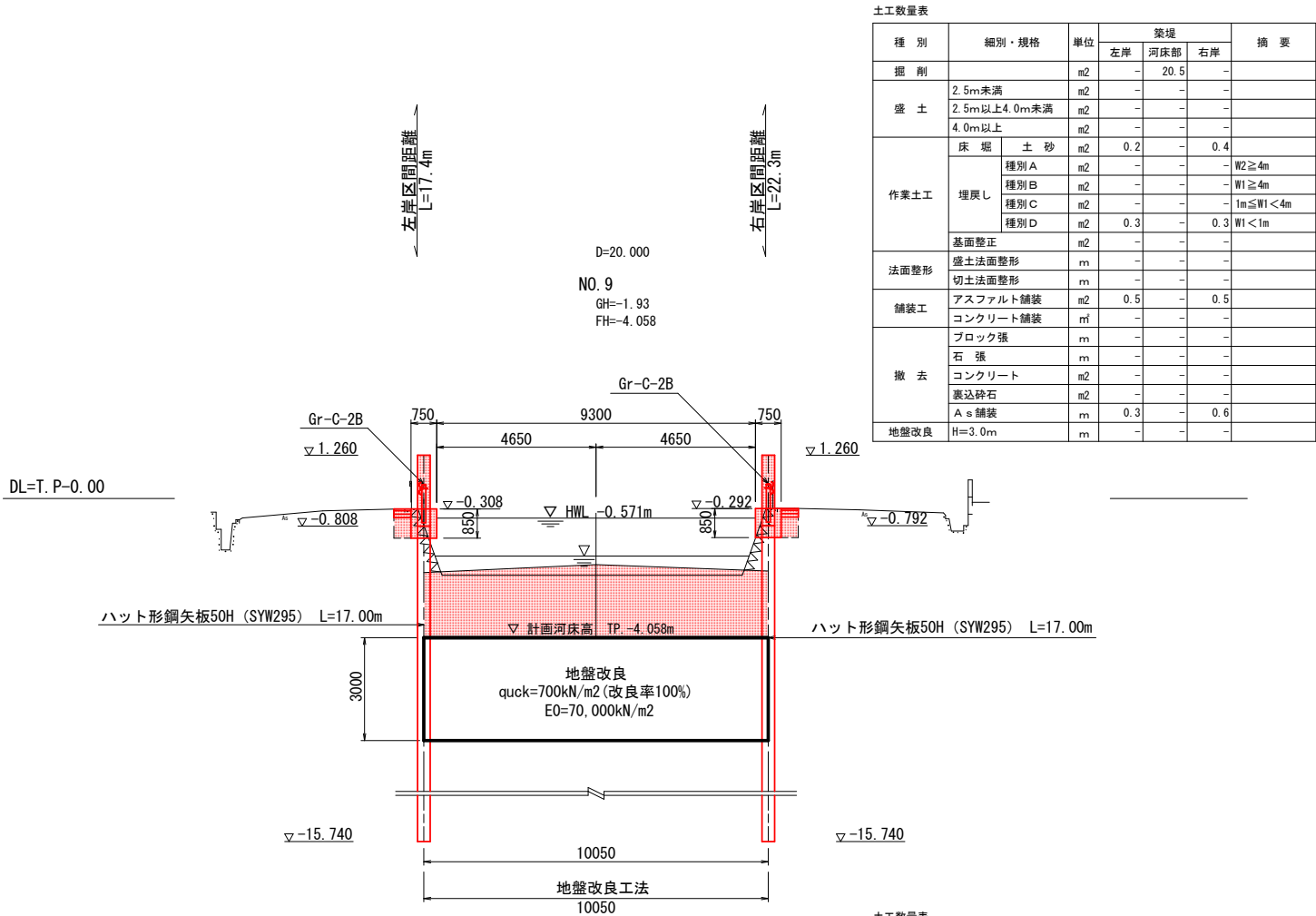
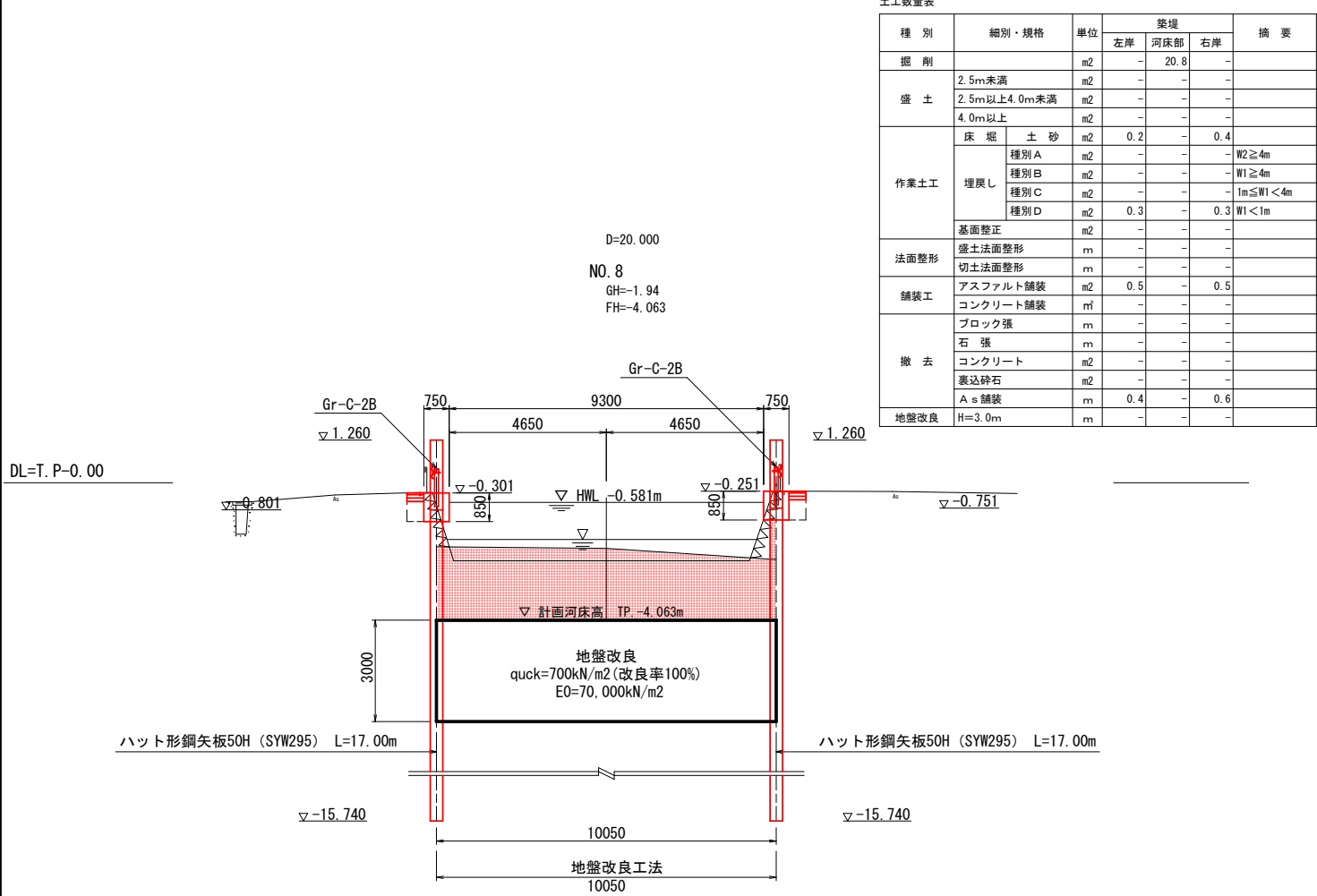
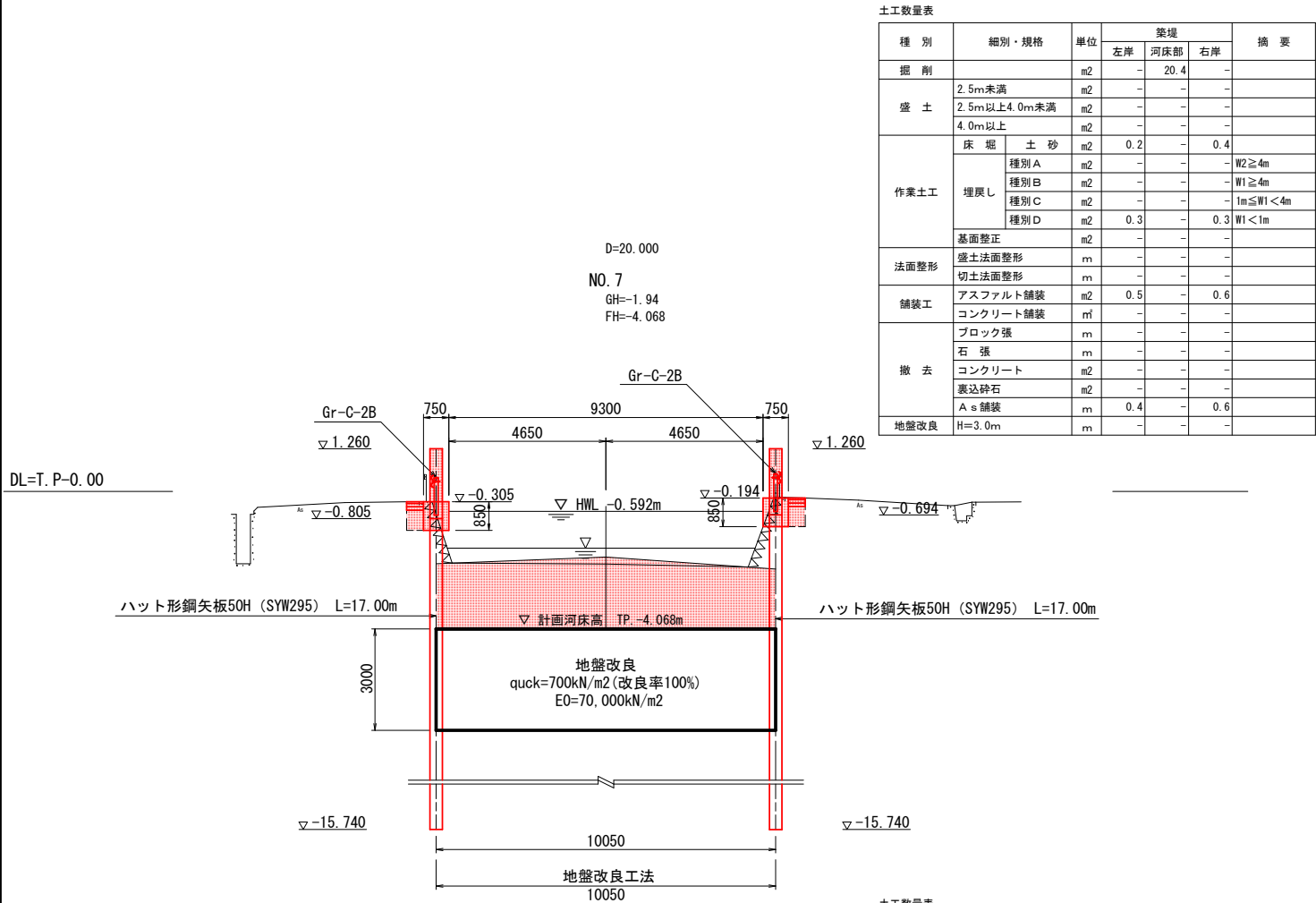


種 別	細 別・規格	単位	築堤			摘 要
			左岸	河床部	右岸	
掘 削		m2	-	19.1	-	
盛 土	2.5m未満	m2	-	-	-	
	2.5m以上4.0m未満	m2	-	-	-	
	4.0m以上	m2	-	-	-	
作業土工	床 堀	土 砂	m2	0.3	0.4	
	種別 A	m2	-	-	-	W2≥4m
	種別 B	m2	-	-	-	W1≥4m
	種別 C	m2	-	-	-	1m≤W1<4m
	種別 D	m2	0.3	-	0.3	W1<1m
法面整形	盛土法面整形	m	-	-	-	
	切土法面整形	m	-	-	-	
舗装工	アスファルト舗装	m2	0.5	-	0.5	
	コンクリート舗装	m	-	-	-	
撤 去	ブロック張	m	-	-	-	
	石 張	m	-	-	-	
地盤改良	コンクリート	m2	-	-	-	
	裏込砕石	m2	-	-	-	
裏込工	A s 舗装	m	0.4	-	0.6	
	H=3.0m	m	-	-	-	

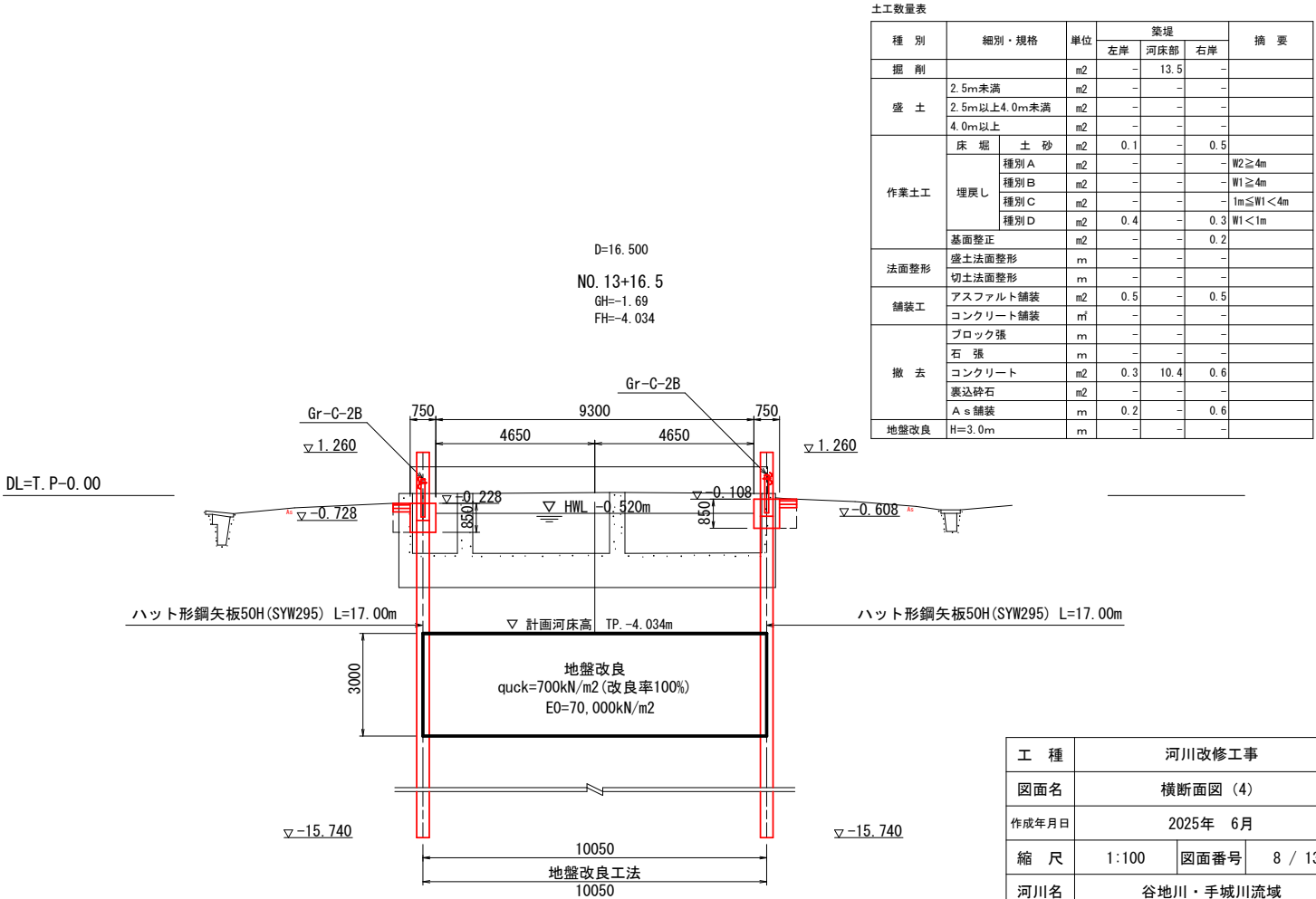
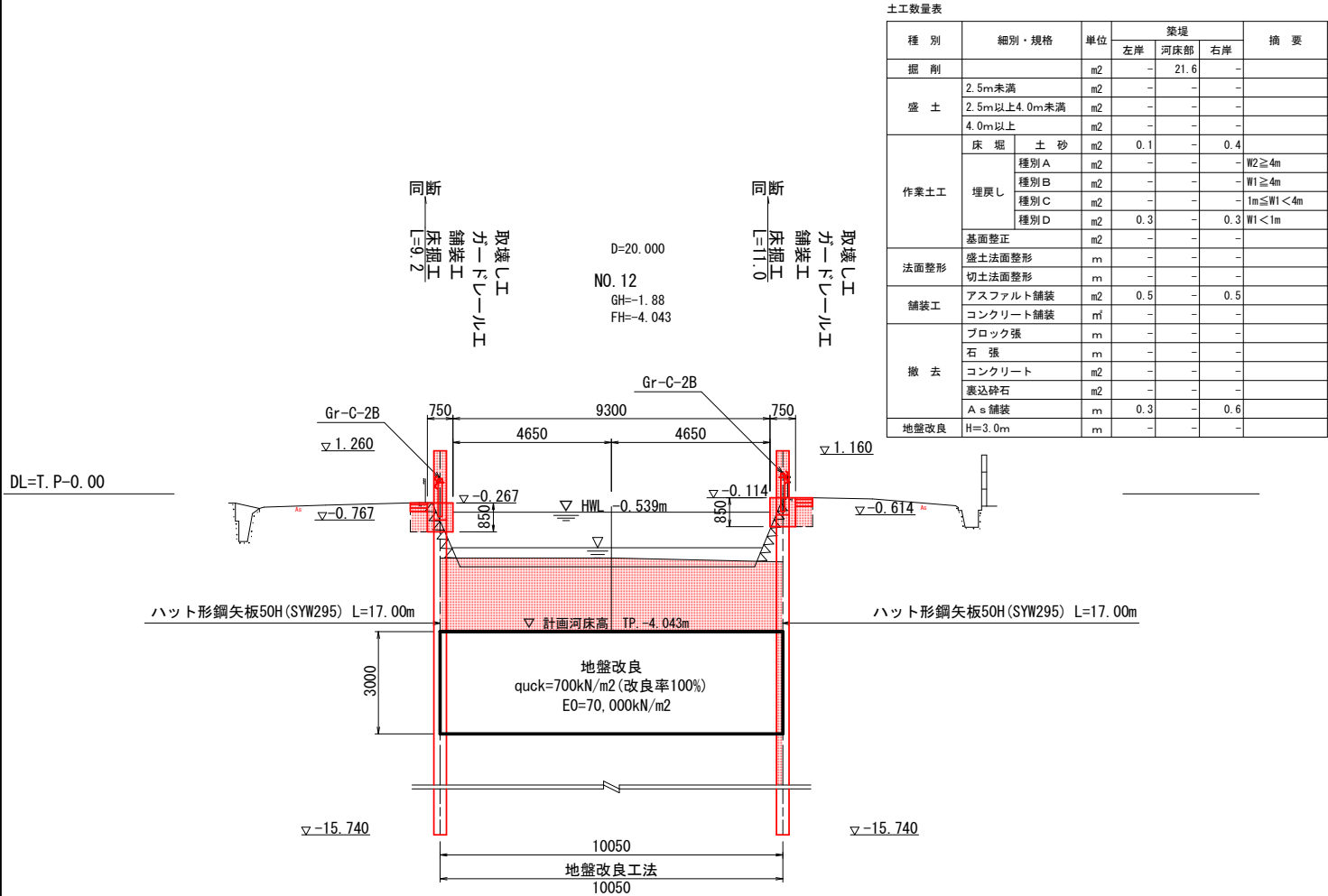
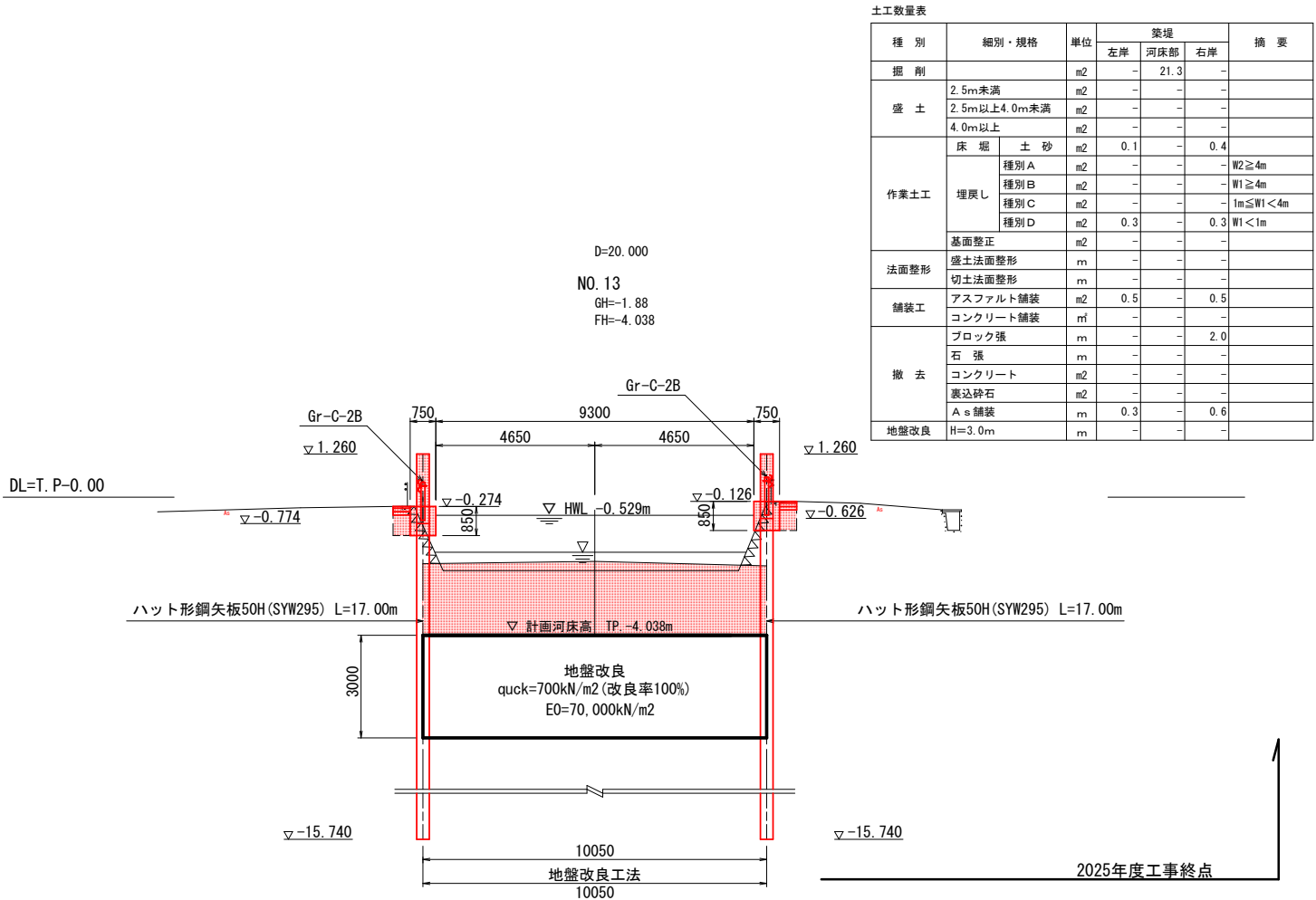
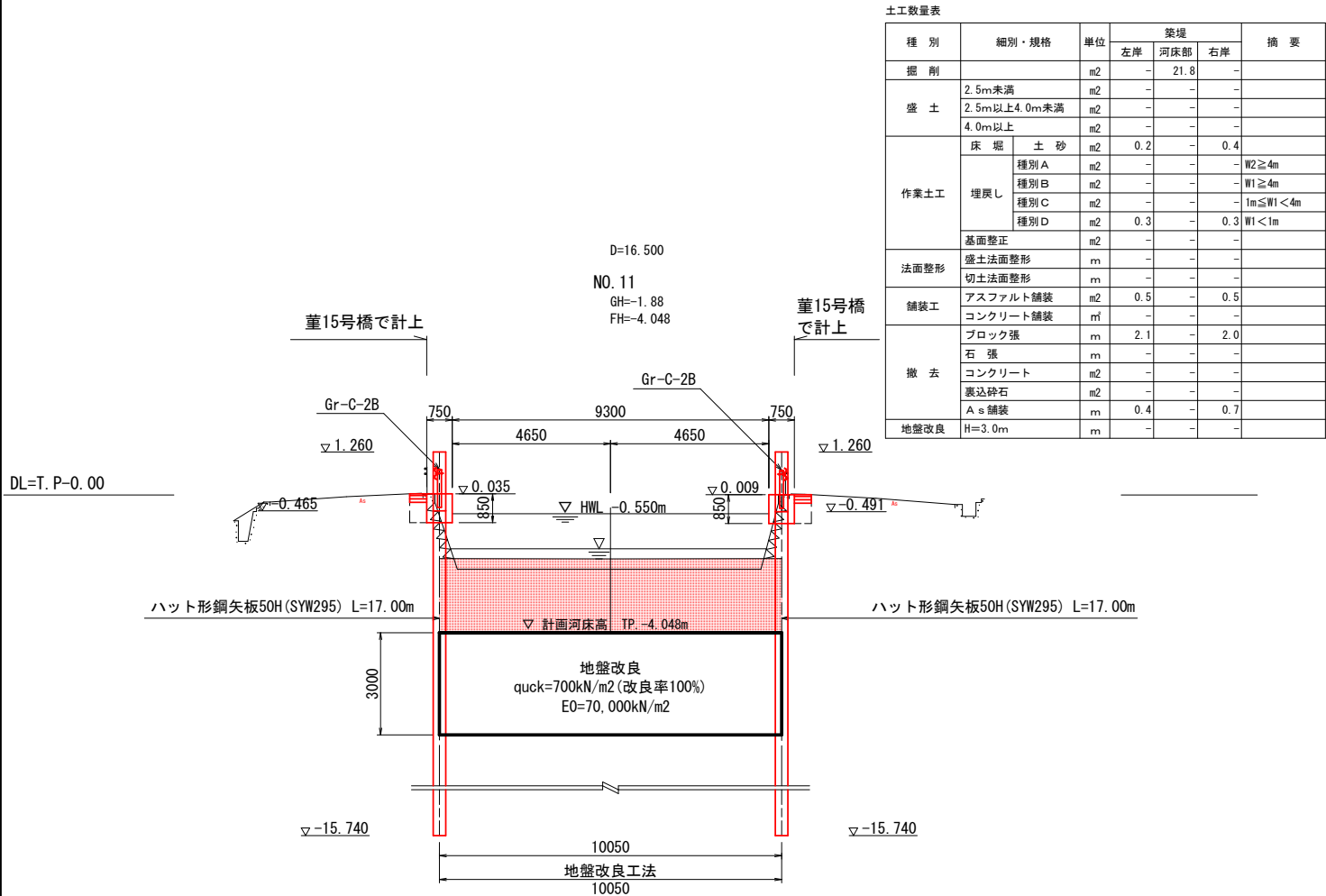
工 種	河川改修工事		
図面名	横断面図 (1)		
作成年月日	2025年 6月		
縮 尺	1:100	図面番号	5 / 13
河川名	谷地川・手城川流域		
事業者名	福 山 市		



工 種	河川改修工事		
図面名	横断面図 (2)		
作成年月日	2025年 6月		
縮 尺	1:100	図面番号	6 / 13
河川名	谷地川・手城川流域		
事業者名	福 山 市		



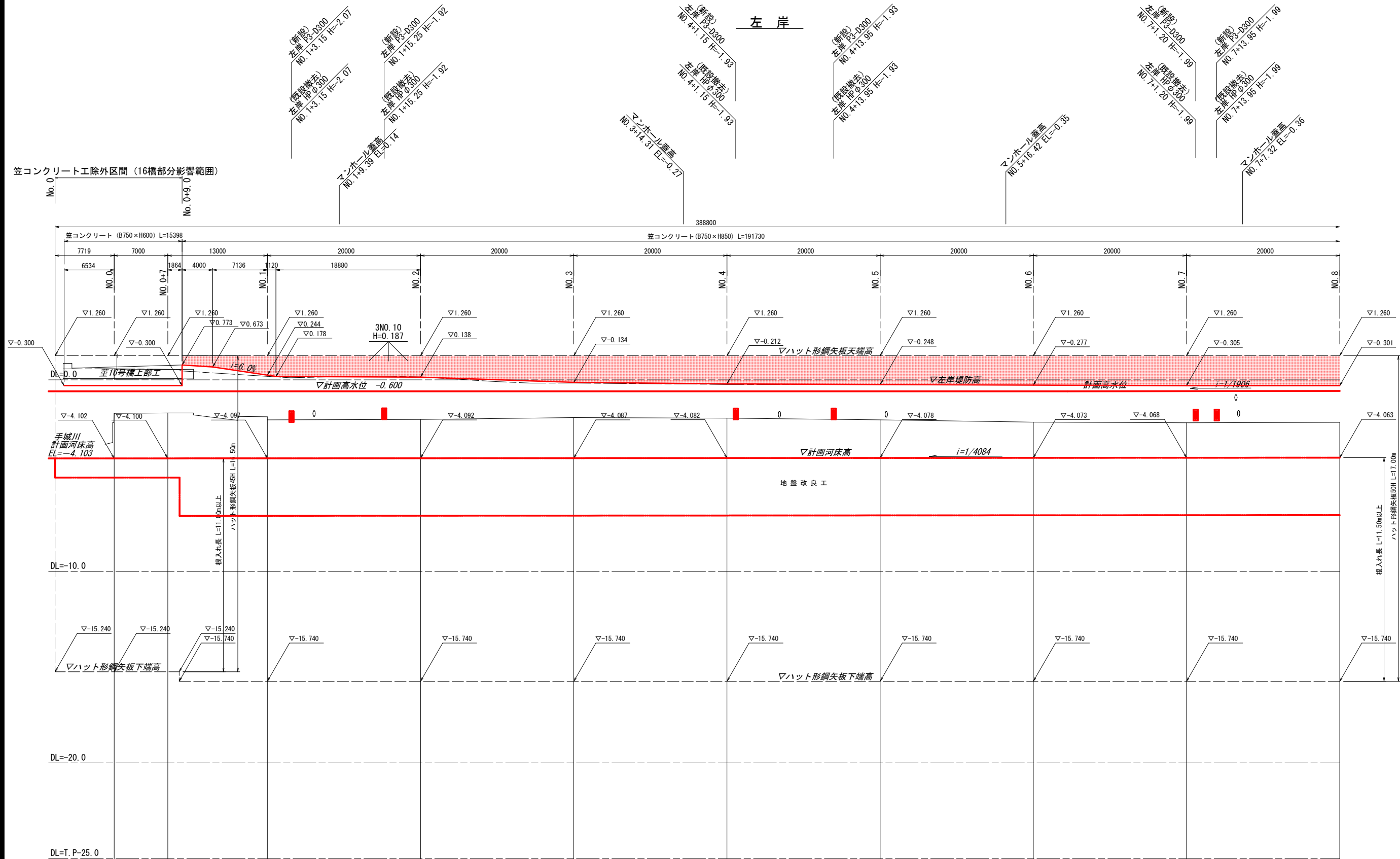
工 種	河川改修工事		
図面名	横断面図 (3)		
作成年月日	2025年 6月		
縮 尺	1:100	図面番号	7 / 13
河川名	谷地川・手城川流域		
事業者名	福 山 市		



工 種	河川改修工事		
図面名	横断面図 (4)		
作成年月日	2025年 6月		
縮 尺	1:100	図面番号	8 / 13
河川名	谷地川・手城川流域		
事業者名	福 山 市		

護岸展開図(1)

V=1:100
H=1:250

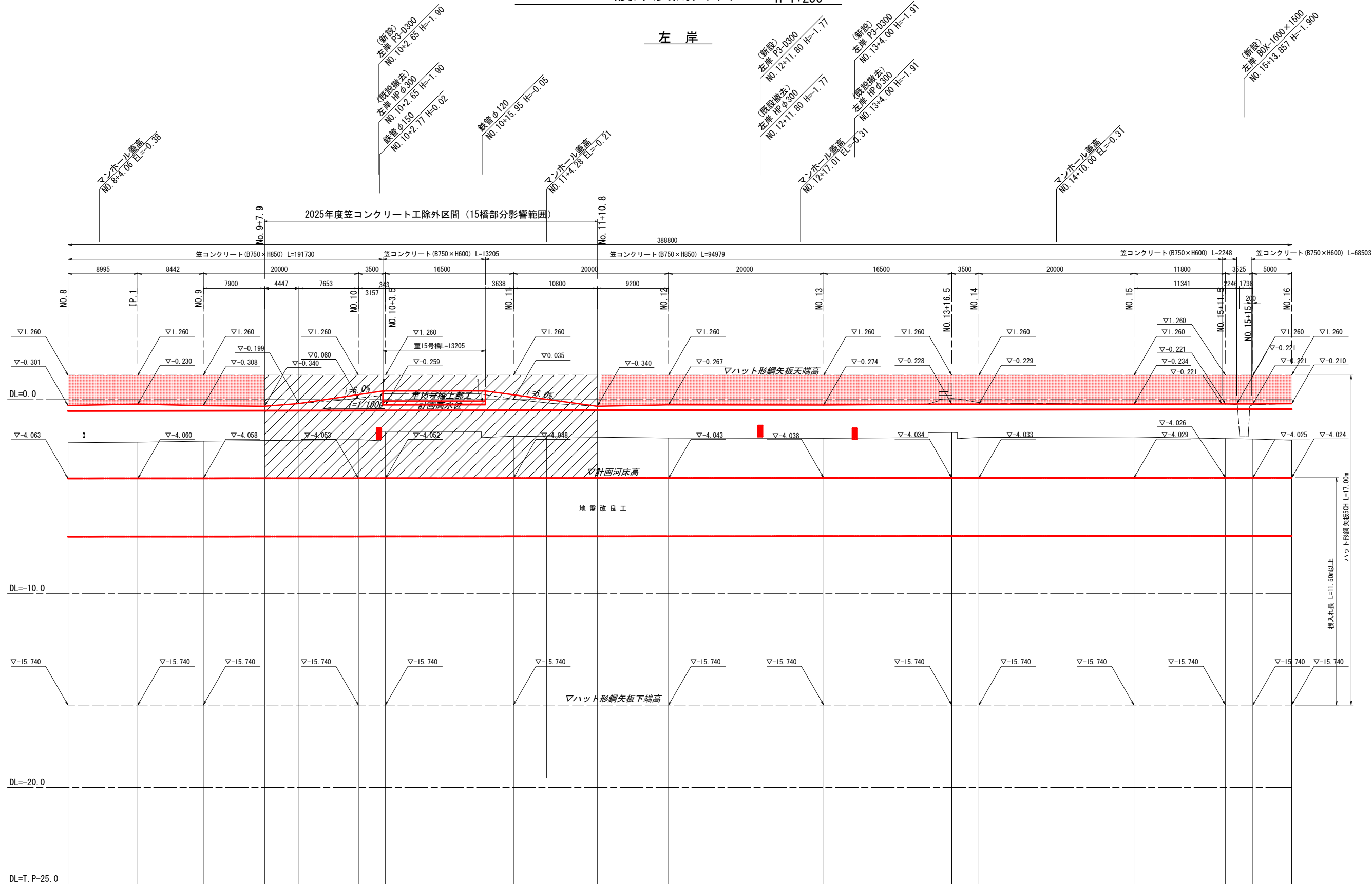


工 種	河川改修工事		
図面名	護 岸 展 開 図 (1) 左 岸		
作成年月日	2025年 6月		
縮 尺	V=1:100 H=1:250	図面番号	9 / 13
河川名	谷地川・手城川流域		
事業者名	福 山 市		

護岸展開図(2)

V=1:100
H=1:250

左 岸



工 種	河川改修工事		
図面名	護 岸 展 開 図 (2) 左 岸		
作成年月日	2025年 6月		
縮 尺	V=1 : 100 H=1 : 250	図面番号	10 / 13
河川名	谷地川・手城川流域		
事業者名	福 山 市		

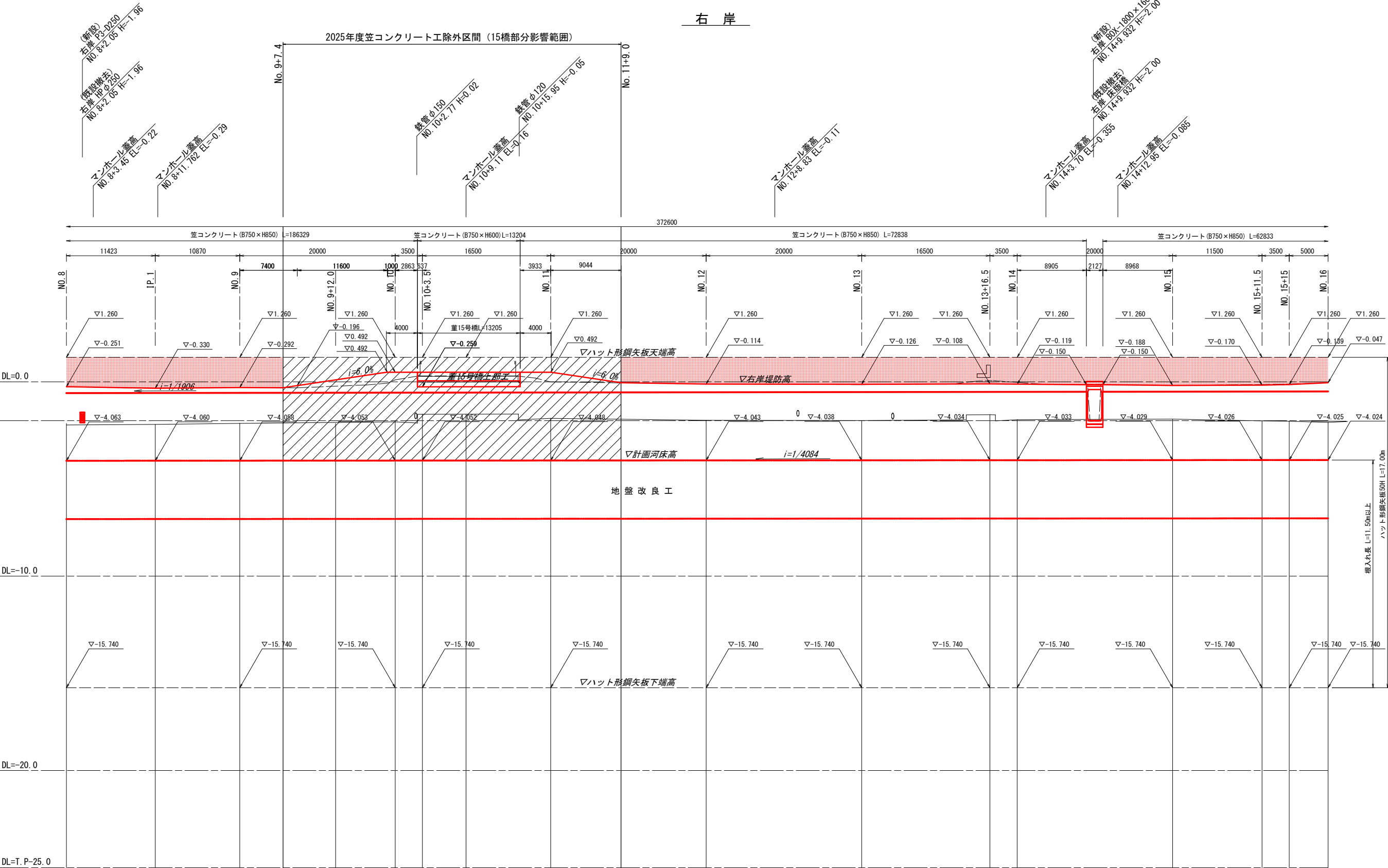
V=1 : 100
H=1 : 250



護岸展開図(5)

V=1:100
H=1:250

右岸

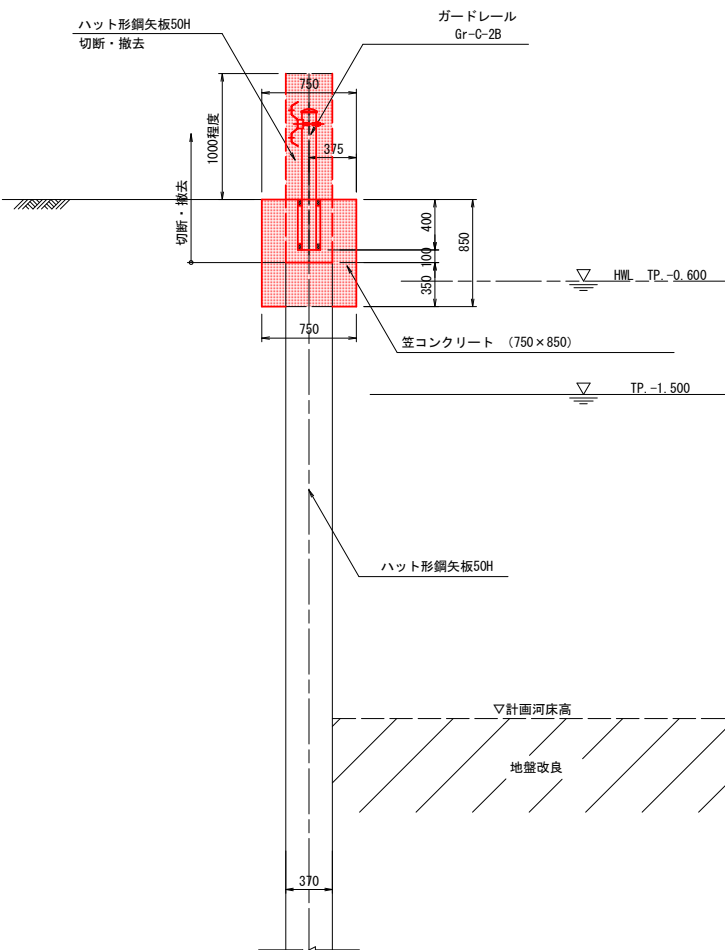


工 種	河川改修工事		
図面名	護 岸 展 開 図 (5) 右 岸		
作成年月日	2025年 6月		
縮 尺	V=1:100 H=1:250	図面番号	12 / 13
河川名	谷地川・手城川流域		
事業者名	福 山 市		

護岸工構造図

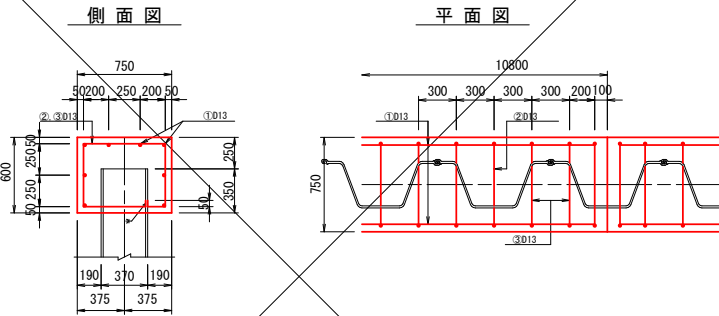
護岸工詳細図

S=1:30



笠コンクリート (B750×H600)

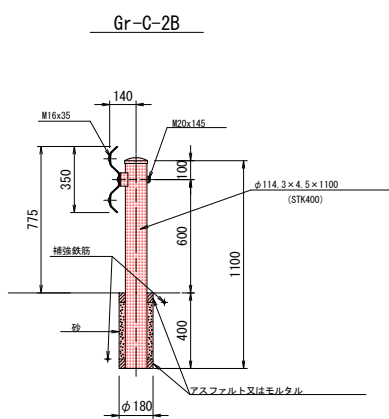
S=1:30



数量表					10.8m当り
種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	m ³	4.860		
型 枠		m ²	17.06		
鉄 筋	D13	kg	170.34		
目地材	亜青繊維質目地板t=10mm	m ²	0.49		
支保工	鋼矢板式クレーン抜き	m	10.80		

ガードレール

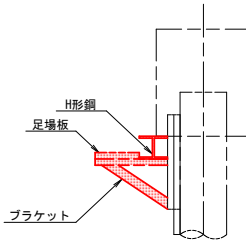
S=1:20



支保 (参考)

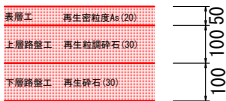
支保概念図

[鋼矢板式]

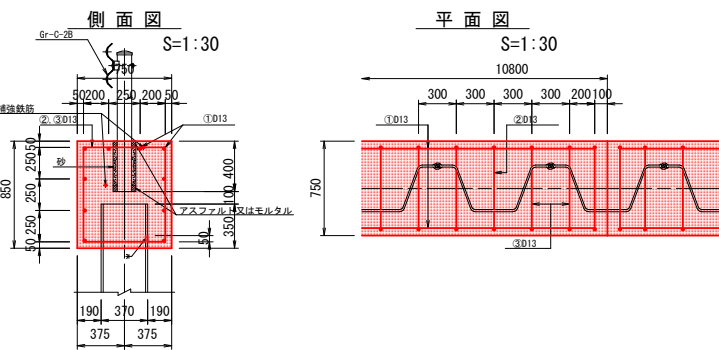


舗装構成

S=1:10



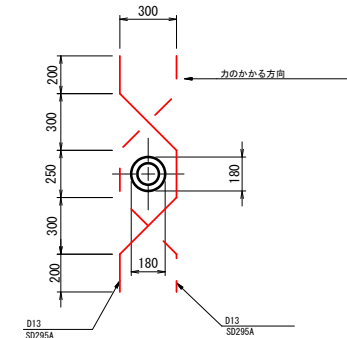
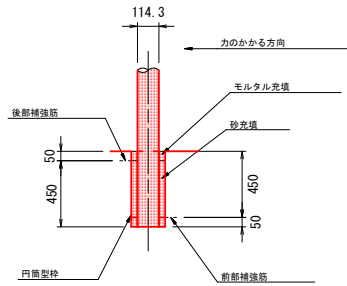
笠コンクリート (B750×H850)



数量表					10.8m当り
種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	m ³	6.9		
型 枠		m ²	22.5		
鉄 筋	D13	t	0.221		
目地材	亜青繊維質目地板t=10mm	m ²	0.6		
支保工	鋼矢板式クレーン抜き	m	10.80		
円形型枠	Φ200	m	2.4		

支柱基礎部詳細図

S=1:20



工 種	河川改修工事		
図面名	護岸工構造図		
作成年月日	2025年 6月		
縮 尺	図示	図面番号	13 / 13
河川名	谷地川・手城川流域		
事業者名	福 山 市		

参 考 图 书

施工単価表

掘削（河床土）
土砂 オープンカット 押土無し
機械構成比：44.26% 労務構成比：36.73% 材料構成比：19.01% 市場単価構成比：0.00%

SPK24040001
障害無し 5,000m3未満

単第0 -0001 表

1
標準単価：328.03000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	44.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	36.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

掘削（粘性土）
土砂 オープンカット 押土無し
機械構成比： 44.26% 労務構成比： 36.73% 材料構成比： 19.01% 市場単価構成比： 0.00%
SPK24040001 障害無し 5,000m3未満
標準単価： 1 m3 当り 328.03000

単第0 -0002 表

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	44.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	36.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0003

土砂等運搬（河床土）
標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比：45.59% 労務構成比：39.52% 材料構成比：14.89% 市場単価構成比：0.00%

SPK24040002
DID区間有り 距離7.0km以下(6.0km超)

単第0 -0003 表
標準単価：1,360.20000
1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=22 距離7.0km以下(6.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0004

土砂等運搬（粘性土）
標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比： 45.59% 労務構成比： 39.52% 材料構成比： 14.89% 市場単価構成比： 0.00%

SPK24040002
DID区間有り 距離7.0km以下(6.0km超)

単第0 -0004 表
標準単価： 1,360.20000
1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=22 距離7.0km以下(6.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0005

安定処理工
添加量50kg/m³

V0001

單第0 -0005 表

m2

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0006

機-18_バックホウ運転

S9042

單第0 -0006 表

クローラ[標準・クレーン付]山0.8m3 2.9t

排出ガス対策型1次基準

目 当り

[illegible]

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 19.87% 労務構成比: 72.99% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0007 表

1
標準単価: m3 当り
2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0008

埋戻し
土砂

SPK24040020
上記以外(小規模)

単第0 -0008 表

1
標準単価:

m3 当り
3,871.10000

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0009

埋戻し

土砂

機械構成比: 9.48%

勞務構成比: 86.47%

上記以外(小規模)

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

單第0 -0008 表

1
標準単価：

m3 当り
3,871.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

笠コンクリート工

V0002

單第0 -0009 表

10.8 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0010 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比:

60.53%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0012

コンクリート

SPK24040153

单第0 -0010 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 勞務構成比:

35.68%

材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

33,754.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0011 表

1
標準単価:

m2 当り
9,352.20000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		46.19%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		25.55%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		9.57%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=1	鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0014

鉄筋工
SD345 D13

SS000099

單第0 -0012 表

一般構造物 [規]10t未滿

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

目地板
1工事当り使用量30m2未満
機械構成比：0.00%

SPK24040122
瀝青繊維質目地板 t=10mm
労務構成比：63.93%

単第0 -0013 表
市場単価構成比：0.00%

1
標準単価：3,855.30000

m2 当り
3,855.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	36.07%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=1 瀝青繊維質目地板 t=10mm		

施工単価表

頁0 -0016

防護柵設置工(Gr) コンクリート建込

SS000123

單第0 -0014 表

- 塗装品 Gr-C-2B

[規] 100m以上

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

下層路盤(車道・路肩部)

SPK24040232

単第0 -0015 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 4.67%

労務構成比:

15.69%

材料構成比:

79.64%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,202.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	1.87%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.48%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.48%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	7.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0018

下層路盤(車道・路肩部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 4.67%

労務構成比: 15.69%

材料構成比: 79.64%

市場単価構成比: 0.00%

SPK24040232

単第0 -0015 表

1

標準単価:

m2 当り

1,202.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 30～0mm	78.02%		クラッシャー 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0019

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0016 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 9.88% 労務構成比: 33.13% 材料構成比: 56.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.01%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	15.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0020

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0016 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 9.88% 労務構成比: 33.13% 材料構成比: 56.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	53.57%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0021

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0017 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 42.30%

材料構成比: 57.27%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,852.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.05%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	52.51%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.54%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0022

表層(車道・路肩部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

機械構成比: 0.43%

SPK24040241

1層当り平均仕上厚50mm

労務構成比: 42.30%

材料構成比: 57.27%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0017 表

1

標準単価:

m2

当り

2,852.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.16%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 C=6 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(20) - -(全ての費用)		B=50 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0023

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0018 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0024

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0018 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当口

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.26000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK24040018

単第0 -0019 表

機械構成比: 20.80% 労務構成比: 71.28% 材料構成比: 7.92% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,690.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0026

ガス切断
鋼矢板

S0180

單第0 -0020 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK24040410

単第0 -0021 表

1

t 当り

クレーン装置付BT4～4.5t級2.9t吊

片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)

標準単価:

1,652.10000

機械構成比: 17.08%

労務構成比: 79.03%

材料構成比: 3.89%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	17.08%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t級吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
運転手(特殊)	40.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	38.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=3 クレーン装置付BT4～4.5t級2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35% 材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離6.5km以下(5.0km超)

単第0 -0022 表
1
標準単価: 5,232.90000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=30 運搬距離6.5km以下(5.0km超)		

施工単価表

頁0 -0029

水替え工

V000000100

單第0 -0023 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

ポンプ設置・撤去

SHD10037

單第0 -0024 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

單第0 -0025 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

ポンプ運転

S1050031

單第0 -0026 表

排水量 0以上40未満 (m3/h)

作業時排水

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

建設用ポンプ(水中ポンプ)運転

S9000045

單第0 -0027 表

口径150mm,揚程10m

7.5kw

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

機-16_発動発電機運転
ディーゼル25kVA

S9469
排出ガス対策型2次基準

單第0 -0028 表

1日目 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

支保工

V000000200

單第0 -0029 表

式 当り

[illegible]

設計数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	計上数量	摘 要
土工	掘削工	掘削	河床土	m3	4,933.9	4,900	
	掘削工	掘削	粘性土	m3	863.0	860	
	残土処理工	残土処理	河床土	m3	4,933.9	4,900	
		残土処理	粘性土	m3	863.0	860	
		処 分	河床土	m3	6,167.4	6,200	
		処 分	粘性土	m3	863.0	860	
	固結工	安定処理	添加量50kg/m3	m2	2,320.9	2,320	
矢板護岸工							
	作業後工	床掘		m3	113.4	110	
		埋戻し		m3	122.3	120	
	購入土			m3	22.5	20	RC30
	護岸基礎工	笠コンクリート	B750×H850	m	407.5	408	
付帯工	路側防護柵工	ガードレール	Gr-C-2B	m	407.5	408	
	アスファルト舗装工	表層工	再生密粒度As(20)	m2	220.1	220	
		上層路盤工	再生粒度調整碎石(30) t=10cm	m2	220.1	220	
		下層路盤工	再生碎石(30) t=10cm	m2	220.1	220	
構造物取壊し工	構造物取壊し	鋼矢板切断		枚	452.0	452	
		スクラップ	鋼矢板50H	t	173.6	173.6	
		アスファルト舗装切断		m	436.0	440	
		アスファルト舗装取壊し	t=5cm	m2	209.9	210	
		アスファルト殻運搬		m3	10.5	11	
		アスファルト殻処分		t	24.7	25	
仮設工	任意仮設	支保工	鋼矢板式 クレーンぬき	m	407.5	408	
		水替工		式	1.0	1	
技術管理	土質試験	六価クロム溶出試験	試験方法1	試料	1.0	1	

土量配分表

種 別 :
ブロック :
区 分 :
細 別 :
規 格 :

項目	土質	単位		数量				摘 要
掘削工	河床土	m3		4,933.9				計第1表
掘削工	粘性土	m3		863.0				計第1表
床掘工	砂質土	m3		113.4				計第3表
埋戻工	砂質土	m3		122.3	÷0.9	135.9		計第4表
残土運搬	河床土	m3		4,933.9				
	粘性土			863.00				
	砂質土	m3		-22.5				
処分	河床土	m3		6,167.4				×1.25
	粘性土	m3		863.0				
	砂質土	m3		-22.50				
小 計								
合 計								

数量計算表

種 別：掘削工
ブロック：河床部
区 分：
細 別：掘削(掘浚土)
規 格：

計第 1 表

測 点	距 離(m)	掘削(河床部)						摘 要
		断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	
深層混合施工区間 増加分		平面図より 596m3+670m3					1,266.0	河床土
NO.0	—	6.1	—	—				
NO.0+7	7.0	12.5	9.30	65.1				
NO.1	13.0	21.0	16.75	217.8				
NO.2	20.0	19.1	20.05	401.0				
NO.3	20.0	18.8	18.95	379.0				
NO.4	20.0	17.4	18.10	362.0				
NO.5	20.0	21.2	19.30	386.0				
NO.6	20.0	18.5	19.85	397.0				
NO.7	20.0	20.4	19.45	389.0				
NO.8	20.0	20.8	20.60	412.0				
NO.9	20.0	20.5	20.65	413.0				
NO.9+12.0	12.0	20.5	20.50	246.0				
NO.10								15号橋施工箇所
NO.11								
NO.11	—	21.8	—	—				粘性土
NO.12	20.0	21.6	21.70	434.0				
NO.13	20.0	21.3	21.45	429.0				
合 計	232.0		河床土 粘性土	4,933.9 863.0				

数量計算表

種 別：安定処理工
ブロック：河床部
区 分：
細 別：
規 格：

計第 2 表

測 点	距 離(m)	掘削(河床部)						摘 要
		河床幅(m)	平均河床幅(m)	面 積(m2)	断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	
NO. 0	—	5.03	—	—				河床土
NO. 0+7	7.0	10.08	7.56	52.9				
NO. 1	13.0	10.08	10.08	131.0				
NO. 2	20.0	10.08	10.08	201.6				
NO. 3	20.0	10.08	10.08	201.6				
NO. 4	20.0	10.08	10.08	201.6				
NO. 5	20.0	10.08	10.08	201.6				
NO. 6	20.0	10.08	10.08	201.6				
NO. 7	20.0	10.08	10.08	201.6				
NO. 8	20.0	10.08	10.08	201.6				
NO. 9	20.0	10.08	10.08	201.6				
NO. 9+12.0	12.0	10.08	10.08	121.0				
NO. 10								15号橋施工箇所
NO. 11								
NO. 11	—	10.08	—	—				粘性土
NO. 12	20.0	10.08	10.08	201.6				
NO. 13	20.0	10.08	10.08	201.6				
合 計	232.0			2,320.9				

平均断面体積計算表

種 別：作業土工
 ブロック：左岸
 区 分：
 細 別：床掘
 規 格：

計第 3 - 1 表

測 点	距 離(m)	床掘			幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)	摘 要
		断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)				
(左岸)								
		0.1	—	—				
NO. 1	11.1	0.1	0.10	1.1				
NO. 2	20.0	0.3	0.20	4.0				
NO. 3	20.0	0.2	0.25	5.0				
NO. 4	20.0	0.2	0.20	4.0				
NO. 5	20.0	0.2	0.20	4.0				
NO. 6	20.0	0.2	0.20	4.0				
NO. 7	20.0	0.2	0.20	4.0				
NO. 8	20.0	0.2	0.20	4.0				
NO. 9	17.4	0.2	0.20	3.5				
NO. 9+7.9	7.9	0.2	0.20	1.6				
NO. 10+13.5								15号橋施工箇所
NO. 11								
NO. 11+10.8		0.2	—	—				
NO. 12	9.2	0.1	0.15	1.4				
NO. 13	20.0	0.1	0.10	2.0				
(右岸)								
		0.4	—	—				
NO. 1	1.2	0.4	0.40	0.5				
NO. 2	20.0	0.4	0.40	8.0				
NO. 3	20.0	0.3	0.35	7.0				
NO. 4	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 5	20.0	0.4	0.35	7.0				
NO. 6	20.0	0.3	0.35	7.0				
NO. 7	20.0	0.4	0.35	7.0				
NO. 8	20.0	0.4	0.40	8.0				
NO. 9	22.3	0.4	0.40	8.9				
NO. 9+7.4	7.4	0.4	0.40	3.0				
No. 10								15号橋施工箇所
No. 11								
NO. 11+9.0		0.4	—	—				
NO. 12	11.0	0.4	0.40	4.4				
NO. 13	20.0	0.4	0.40	8.0				
合 計	407.5			113.4				

平均断面体積計算表

種 別：作業土工
 ブロック：左岸
 区 分：
 細 別：埋戻し
 規 格：

計第 3 - 2 表

測 点	距 離(m)	埋戻し D						摘 要
		断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	
(左岸)								
	—	0.3	—	—				
NO. 1	11.1	0.3	0.30	3.3				
NO. 2	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 3	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 4	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 5	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 6	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 7	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 8	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 9	17.4	0.3	0.30	5.2				
NO. 9+7.9	7.9	0.3	0.30	2.4				
NO. 10+13.5								15号橋施工箇所
NO. 11								
NO. 11+10.8		0.3	—	—				
NO. 12	9.2	0.3	0.30	2.8				
NO. 13	20.0	0.3	0.30	6.0				
(右岸)								
	—	0.3	—	—				
NO. 1	1.2	0.3	0.30	0.4				
NO. 2	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 3	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 4	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 5	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 6	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 7	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 8	20.0	0.3	0.30	6.0				
NO. 9	22.3	0.3	0.30	6.7				
NO. 9+7.4	7.4	0.3	0.30	2.2				
No. 10								15号橋施工箇所
No. 11								
NO. 11+9.0		0.3	—	—				
NO. 12	11.0	0.3	0.30	3.3				
NO. 13	20.0	0.3	0.30	6.0				
合 計	407.5			122.3				

一般計算書

種 別：護岸基礎工
ブロック：笠コンクリート
区 分：

計第 4 表

細別／規格	算式／図	数量
笠コンクリート工 現場打 B750×H850	平面図より 左岸 205.6 右岸 201.9	407.5 m
支保工 鋼矢板式 クレーンぬき	笠コンクリート工延長より	407.5 m

単位数量計算書

細 別：笠コンクリート工
規 格：現場打 B750×H850

10.8 m当り

略 図		
側面図 平面図		
材料／規格	算 式	数 量
コンクリート $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	$V=0.75 \times 0.85 \times 10.8=6.9$	6.9 m3
型枠 一般型枠	$A=(0.85 \times 2+0.38) \times 10.8=22.5$	22.5 m2
鉄筋 D13	$W=(2.80 \times 36+10.6 \times 10) \times 0.995+2.986 \times 5=220.7 \cdots \text{kg}$ $220.7 \div 1000=0.221\text{t}$	0.221 t
目地材 瀝青繊維質目地材 t=10mm	$A=0.6375 \times 1=0.6$	0.6 m2
支保工 鋼矢板クレーン抜き	$L=10.8$	10.80 m
円形型枠 Φ200 L=0.40m	$L=10.8 \div 2.0+1=6.4 \cdots 6 \text{本} \times 0.40=2.4$	2.4 m

一般計算書

種 別：路側防護柵工
ブ ロ ッ ク：
区 分：

計第 6 表

細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
ガードレール Gr-C-2B	平面図より 左岸 205.6 右岸 201.9	407.5 m

数量計算表

計第 7 表

種 別：アスファルト舗装工
 ブロック：
 区 分：
 細 別：表層工
 規 格：再生密粒度アスコン t=5cm

測 点	距 離(m)				摘 要
		幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)	
左岸	—	0.5	—	—	
NO. 1	11.1	0.5	0.50	5.6	
NO. 2	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 3	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 4	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 5	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 6	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 7	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 8	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 9	17.4	0.5	0.50	8.7	
	12.0	0.5	0.50	6.0	
NO. 11	—	0.5	—	—	
NO. 12	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 13	20.0	0.5	0.50	10.0	
右岸	—	0.5	—	—	
NO. 1	1.2	0.5	0.50	0.6	
NO. 2	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 3	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 4	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 5	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 6	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 7	20.0	0.6	0.55	11.0	
NO. 8	20.0	0.5	0.55	11.0	
NO. 9	22.3	0.5	0.50	11.2	
	12.0	0.5	0.50	6.0	
NO. 11		0.5	—	—	
NO. 12	20.0	0.5	0.50	10.0	
NO. 13	20.0	0.5	0.50	10.0	
小 計	436.0			220.1	
合 計	436.0			220.1	下層路盤、上層路盤 数量同じ

一般計算書

種 別：鋼矢板切断
ブロック：
区 分：

計第 8 表

細別／規格	算 式 / 図		数 量																																																																																								
鋼矢板切断 H50	左岸 205.6/0.9=228.4…228枚 右岸 201.9/0.9=224.3…224枚		452 枚																																																																																								
鋼矢板切断長	左岸 228×2.3=524.4m 右岸 224×2.3=515.2m		1,039.6 m																																																																																								
スクラップ 鋼矢板H50	1039.6×167kg/m=173613.2kg…173.6t		173.6 t																																																																																								
矢板切断長算出 笠コン高 H=0.85																																																																																											
<table><tr><td colspan="3">左岸</td><td colspan="3">右岸</td></tr><tr><td></td><td>矢板天端EL</td><td>笠コン天端高EL</td><td>切断長</td><td>矢板天端EL</td><td>笠コン天端高EL</td><td>切断長</td></tr><tr><td>No. 2</td><td>1.26</td><td>0.138</td><td>1.97</td><td>1.26</td><td>-0.044</td><td>2.15</td></tr><tr><td>No. 3</td><td>1.26</td><td>-0.175</td><td>2.29</td><td>1.26</td><td>-0.134</td><td>2.24</td></tr><tr><td>No. 4</td><td>1.26</td><td>-0.248</td><td>2.36</td><td>1.26</td><td>-0.212</td><td>2.32</td></tr><tr><td>No. 5</td><td>1.26</td><td>-0.248</td><td>2.36</td><td>1.26</td><td>-0.25</td><td>2.36</td></tr><tr><td>No. 6</td><td>1.26</td><td>-0.277</td><td>2.39</td><td>1.26</td><td>-0.244</td><td>2.35</td></tr><tr><td>No. 7</td><td>1.26</td><td>-0.305</td><td>2.42</td><td>1.26</td><td>-0.194</td><td>2.30</td></tr><tr><td>No. 8</td><td>1.26</td><td>-0.301</td><td>2.41</td><td>1.26</td><td>-0.251</td><td>2.36</td></tr><tr><td>No. 9</td><td>1.26</td><td>-0.308</td><td>2.42</td><td>1.26</td><td>-0.292</td><td>2.40</td></tr><tr><td>No. 12</td><td>1.26</td><td>-0.267</td><td>2.38</td><td>1.26</td><td>-0.114</td><td>2.22</td></tr><tr><td colspan="3">平均切断長 2.30</td><td colspan="3">平均切断長 2.30</td></tr><tr><td colspan="3">小数点第一に四捨五入</td><td colspan="3">小数点第一に四捨五入</td></tr></table>				左岸			右岸				矢板天端EL	笠コン天端高EL	切断長	矢板天端EL	笠コン天端高EL	切断長	No. 2	1.26	0.138	1.97	1.26	-0.044	2.15	No. 3	1.26	-0.175	2.29	1.26	-0.134	2.24	No. 4	1.26	-0.248	2.36	1.26	-0.212	2.32	No. 5	1.26	-0.248	2.36	1.26	-0.25	2.36	No. 6	1.26	-0.277	2.39	1.26	-0.244	2.35	No. 7	1.26	-0.305	2.42	1.26	-0.194	2.30	No. 8	1.26	-0.301	2.41	1.26	-0.251	2.36	No. 9	1.26	-0.308	2.42	1.26	-0.292	2.40	No. 12	1.26	-0.267	2.38	1.26	-0.114	2.22	平均切断長 2.30			平均切断長 2.30			小数点第一に四捨五入			小数点第一に四捨五入		
左岸			右岸																																																																																								
	矢板天端EL	笠コン天端高EL	切断長	矢板天端EL	笠コン天端高EL	切断長																																																																																					
No. 2	1.26	0.138	1.97	1.26	-0.044	2.15																																																																																					
No. 3	1.26	-0.175	2.29	1.26	-0.134	2.24																																																																																					
No. 4	1.26	-0.248	2.36	1.26	-0.212	2.32																																																																																					
No. 5	1.26	-0.248	2.36	1.26	-0.25	2.36																																																																																					
No. 6	1.26	-0.277	2.39	1.26	-0.244	2.35																																																																																					
No. 7	1.26	-0.305	2.42	1.26	-0.194	2.30																																																																																					
No. 8	1.26	-0.301	2.41	1.26	-0.251	2.36																																																																																					
No. 9	1.26	-0.308	2.42	1.26	-0.292	2.40																																																																																					
No. 12	1.26	-0.267	2.38	1.26	-0.114	2.22																																																																																					
平均切断長 2.30			平均切断長 2.30																																																																																								
小数点第一に四捨五入			小数点第一に四捨五入																																																																																								

数量計算表

計第 9 表

種 別：アスファルト舗装切断
 ブロック：
 区 分：
 細 別：As舗装 t=5cm
 規 格：

測 点	距 離(m)	距 離(m)			摘 要
		距 離(m)			
左岸					
NO. 1	11. 1	11. 10			
NO. 2	20. 0	20. 00			
NO. 3	20. 0	20. 00			
NO. 4	20. 0	20. 00			
NO. 5	20. 0	20. 00			
NO. 6	20. 0	20. 00			
NO. 7	20. 0	20. 00			
NO. 8	20. 0	20. 00			
NO. 9	17. 4	17. 40			
	12. 0	12. 00			
NO. 11					
NO. 12	20. 0	20. 00			
NO. 13	20. 0	20. 00			
右岸					
NO. 1	1. 2	1. 20			
NO. 2	20. 0	20. 00			
NO. 3	20. 0	20. 00			
NO. 4	20. 0	20. 00			
NO. 5	20. 0	20. 00			
NO. 6	20. 0	20. 00			
NO. 7	20. 0	20. 00			
NO. 8	20. 0	20. 00			
NO. 9	22. 3	22. 30			
	12. 0	12. 00			
NO. 11					
NO. 12	20. 0	20. 00			
NO. 13	20. 0	20. 00			
小 計	416. 0	436. 0			
合 計	416. 0	436. 0			

数量計算表

種 別：アスファルト舗装撤去
 ブロック：
 区 分：
 細 別：As舗装 t=5cm
 規 格：

計第 10 表

測 点	距 離(m)				摘 要
		幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)	
左岸	—	0.20	—	—	
NO.1	11.1	0.20	0.200	2.2	
NO.2	20.0	0.40	0.300	6.0	
NO.3	20.0	0.40	0.400	8.0	
NO.4	20.0	0.40	0.400	8.0	
NO.5	20.0	0.30	0.350	7.0	
NO.6	20.0	0.30	0.300	6.0	
NO.7	20.0	0.40	0.350	7.0	
NO.8	20.0	0.40	0.400	8.0	
NO.9	17.4	0.30	0.350	6.1	
	12.0	0.30	0.300	3.6	
	—	0.40	—	—	
NO.11	20.0	0.40	0.400	8.0	
NO.12	20.0	0.30	0.350	7.0	
NO.13	20.0	0.30	0.300	6.0	
右岸	—	0.60	—	—	
NO.1	1.2	0.60	0.600	0.7	
NO.2	20.0	0.60	0.600	12.0	
NO.3	20.0	0.50	0.550	11.0	
NO.4	20.0	0.60	0.550	11.0	
NO.5	20.0	0.50	0.550	11.0	
NO.6	20.0	0.50	0.500	10.0	
NO.7	20.0	0.60	0.550	11.0	
NO.8	20.0	0.60	0.600	12.0	
NO.9	22.3	0.60	0.600	13.4	
	12.0	0.60	0.600	7.2	
	—	0.70	—	—	
NO.11	3.9	0.70	0.700	2.7	
NO.12	20.0	0.60	0.650	13.0	
NO.13	20.0	0.60	0.600	12.0	
合 計	439.9			209.9	
アス殻運搬			t=5cm	10.5	
アス殻処分			2.35	24.7	